

0950迄 (1307件)

- 901年-07:00|タイ| |||10世紀、メコン川沿いでタイ族国家のユノック興る
- 901年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Udaya1世」Sena2世の兄弟(～912年)
- 901年-04:30|アッガニスタン/イラン| |||<即位>サッファール朝アミール「アブー・ハサン・ターヒル」(～909年死去)
- 901年-04:30|アッガニスタン/イラン| |||<退位>サッファール朝アミール「アムル・イブン・アル＝ライス」サーマン朝の戦闘が行われ、サッファール軍は敗北を喫し捕虜となった
- 901年-03:30|イラン| |||<死去>サッド朝アッシン「Abdu Ubaydullah Muhammad Ibn Abi' l-Sajj」
- 901年-03:30|イラン| |||<即位>サッド朝アッシン「Abu' l Musafir Devdad Ibn Muhammad」⇒「Yusuf Ibn Abi' l-Sajj」(～919年)
- 901年-01:00|イタリヤ| |||<死去>サルノ公「ガ・イマル1世」
- 901年-01:00|イタリヤ| |||<即位>サルノ公「ガ・イマル2世」(～9460604死去)
- 901年1月12日-01:00|イタリヤ| |||<即位>ベネチア大公「ランドルフ1世」(→910カプア王～9430410死去)
- 901年1月23日-09:00|朝鮮| ||唐・光化4年<即位>後高句麗王「弓裔」建国(～918年死去)/後三国時代が始まる
- 901年1月23日-08:00|中国| |||このころチベット西部高地で吐蕃王朝の血をひくグゲ王国が形成
- 901年1月23日-08:00|中国| ||唐・光化4年1月|李茂貞が昭宗に迫り「岐王」の称号を授かった上に、皇帝を自分の根拠である鳳翔に遷して遷都を宣言/10道20州を統治
- 901年1月23日-09:00|日本| ||昌泰4年1月1日|日蝕あり
- 901年1月24日-08:00|中国| ||唐・光化4年1月2日<廃位>唐第23代皇帝「(徳王李裕)李裕」左神策軍の将の孫徳昭・董彦弼・周承誨が兵をもって乱を制圧、徳王に降格
- 901年1月24日-08:00|中国| ||唐・光化4年1月2日<復位>唐第22代皇帝「昭宗李敏」(～天祐元年8月11日(904年9月22日))
- 901年2月16日-09:00|日本| ||昌泰4年1月25日|右大臣道真を太宰府に流し大学頭菅原高視らを左遷
- 901年2月16日-08:00|中国| ||唐・光化4年1月25日|朱全忠が絳州を陥落させた
- 901年2月20日-08:00|中国| ||唐・光化4年1月29日|朱全忠が晋州を陥落させた
- 901年2月22日-01:00|イタリヤ/ドイツ/フランス| |||<即位>フランク・ローマ皇帝「ルドウィクス3世盲目王」ルドウィクス2世の孫(～09050721)
- 901年3月8日-08:00|中国| ||唐・光化4年2月15日|朱全忠が河中を陥落させ、護国軍節度使の王珂を捕らえた
- 901年4月20日-08:00|中国| ||唐・光化4年3月29日|昭義軍節度使の孟遷が叛いて朱全忠についた
- 901年4月21日-08:00|中国| ||唐・天復1年4月1日|朱全忠が沁・沢二州を陥落させた
- 901年4月26日-08:00|中国| ||唐・天復1年4月6日|儀州刺史の張鄂が叛いて朱全忠についた
- 901年5月15日-08:00|中国| ||唐・天復1年4月24日|唐・昭宗が天復と改元
- 901年6月19日-08:00|中国| ||唐・天復1年6月|李克用が隰・慈の二州を陥落させた
- 901年8月31日-09:00|日本| ||延喜1年7月15日|延喜に改元
- 901年9月17日-09:00|日本| ||延喜1年8月2日|清和・陽成・光孝3代の天皇が在位した32年間を記述した『日本三代実録』が完成
- 901年10月4日-09:00|日本| ||延喜1年8月19日|左大臣藤原時平ら、延喜式十巻を撰進
- 901年12月14日-08:00|中国| ||唐・天復1年11月1日|朱全忠が同州を陥落させた
- 901年12月22日-08:00|中国| ||唐・天復1年11月9日|朱全忠が華州を陥落させ、鎮国軍節度使の韓建が叛いて朱全忠についた
- 901年12月28日-08:00|中国| ||唐・天復1年11月15日|李茂貞が朱全忠と武功で戦い、敗れた
- 902年-03:00|イェメン| |||<即位>ジヤディット朝アミール「Ibn Ziyad」(～904年)
- 902年-01:00|フランス| |||<復位>ホワイエ伯「Ebalus」(～935年死去)
- 902年 00:00|マン島| |||<就任>マノ王「Rognvaldr」(～917年)
- 902年 00:00|アイルランド| |||レンスターとブレイクの合同部隊は、ダブリンから北欧人(ヴァイキング)を追放、ライギン(レンスター)が支配
- 902年1月2日-08:00|中国| ||唐・天復1年11月20日|朱全忠が鳳翔を侵した
- 902年1月5日-08:00|中国| ||唐・天復1年11月20日|朱全忠が彬州を陥落させ、静難軍節度使の李繼徽が叛いて朱全忠についた
- 902年1月13日-08:00|中国| ||唐・天復1年12月|鍾伝が吉州を陥落させた
- 902年2月11日-08:00|中国| ||唐・天復2年<死去>大封民皇帝「舜化貞」/漢人の権臣・鄭買嗣は舜化貞の子を殺害して宮廷クーデターを発動し、南詔蒙氏王室800人を殺害し、ここに10代164年続いた南詔は滅亡
- 902年2月11日-08:00|中国| ||唐・天復2年<即位>大長和初代皇帝「聖祖聖明文武威徳桓皇帝」(～910年)
- 902年4月3日-08:00|中国| ||唐・天復2年2月22日|王建が利州を陥落させ、昭武軍節度使の李繼忠が鳳翔に逃れた
- 902年4月5日-03:00|イタリヤ| |||<死去>バグダート・アッバース朝第16代カリフ「ムクタディム」バグダートで病死
- 902年4月5日-03:00|イタリヤ| |||<即位>バグダート・アッバース朝第17代カリフ「ムクタフィー」(～09080813)
- 902年4月11日-08:00|中国| ||唐・天復2年3月<即位>呉第1代皇帝「武忠王(楊行密)」唐より東面行営都統・中書令・呉王を拜命自立(～905年)/唐の元号を用い続けた
- 902年4月17日-08:00|中国| ||唐・天復2年3月7日|朱全忠が汾州を陥落させた
- 902年4月22日-08:00|中国| ||唐・天復2年3月12日|朱全忠が隰・隰の二州を陥落させた
- 902年4月23日-09:00|日本| ||延喜2年3月13日<発布>太政官符として延喜の荘園整理令、班田制が終了
- 902年5月1日-08:00|中国| ||唐・天復2年3月21日|李克用が汾・隰・隰の三州を陥落させた
- 902年5月30日-08:00|中国| ||唐・天復2年4月20日|楊行密が昇州を陥落させた

0950迄 (1307件)

- 902年6月9日-08:00|中国| ||唐・天復2年5月1日|李茂貞が朱全忠と武功で戦い、敗れた
- 902年7月19日-08:00|中国| ||唐・天復2年6月12日|朱全忠が鳳州を陥落させた
- 902年8月1日-01:00|イリア| ||シリアのビザンチン領土が陥落し、シリアはイスラム勢力に入る
- 902年8月6日-08:00|中国| ||唐・天復2年7月1日|朱全忠が成州を陥落させた
- 902年8月7日-08:00|中国| ||唐・天復2年7月2日|朱全忠が隴州を陥落させた
- 902年10月2日-08:00|中国| ||唐・天復2年8月28日|王建が興元を陥落させ、山南西道節度使の王万弘が叛いて王建についた
- 902年10月9日-08:00|中国| ||唐・天復2年9月5日|李茂貞が朱全忠と槐林で戦い、敗れた/武定軍節度使の拓拔思恭が叛いて王建についた
- 902年10月23日-01:00|チュニジア| ||<死去>アッラブ朝「イブラヒム2世」
- 902年10月23日-01:00|チュニジア| ||<即位>アッラブ朝「アブド・アッラー72世」(~9030727死去)
- 902年11月3日-08:00|中国| ||唐・天復2年10月1日|王建が興州を陥落させた
- 902年11月10日-09:00|日本| ||延喜2年10月8日|<死去>君子内親王(生年生年未詳/皇族、賀茂齋院)
- 902年12月13日 00:00|イギリス| ||<死去>イーストアングリア王「Eohric」戦死
- 902年12月13日 00:00|イギリス| ||<死去>ノーザンブリア王「Athelwald Athelraedes sunu」戦死
- 902年12月13日 00:00|イギリス| ||<即位>ノーザンブリア王「Ivarr」(~904年死去)
- 902年12月13日 00:00|イギリス| ||イーストアングリアをアングロサクソンが併合
- 903年-07:00|バトナム| ||<即位>チャンパ王「バトラーマン2世」(~910年)
- 903年-01:00|スペイン| ||<就任>カスティーリャ伯「Gonzalo Tellez」(~同年)
- 903年-01:00|フランス| ||<就任>レヌ伯「Judicael Berengar」(~953年死去)
- 903年-01:00|フランス| ||<即位>ロトリキア大公「ケープハルト」コンラート1世の叔父(~9100622死去)
- 903年1月28日-08:00|中国| ||唐・天復2年12月27日|朱全忠が7州を陥落させ、保大軍節度使の李茂勳が叛いて朱全忠についた
- 903年2月1日-08:00|中国| ||南詔・安国1年|南詔・鄭買嗣が安国(-909年)と改元
- 903年2月1日-08:00|中国| ||唐・天復3年|鳳翔を包囲した朱全忠は蜀の王建と結び挟撃、岐・李茂貞は昭宗を朱全忠に引き渡して降伏/領土も二道七州に削減され、没収された領地は朱全忠と王建によって分割された
- 903年2月4日-08:00|中国| ||唐・天復3年1月4日|平盧軍節度使の王師範が7州を取った
- 903年3月26日-09:00|日本| ||延喜3年2月25日|<死去>「菅原道真」太宰府で(59歳/公卿、漢詩人、政治家、誕生:承和12(845)0625)
- 903年4月1日-08:00|中国| ||唐・天復3年3月|朱全忠が青州を陥落させた/楊行密が密州を陥落させ、刺史の劉康又がここに死んだ
- 903年6月10日-08:00|中国| ||唐・天復3年5月12日|荆南節度使の成徳が楊行密と君山で戦い死んだ/武貞軍節度使の雷彦威の弟の雷彦恭が江陵を陥落させた
- 903年7月3日-08:00|中国| ||唐・天復3年6月6日|朱全忠が登州を陥落させた
- 903年7月27日-01:00|チュニジア| ||<死去>アッラブ朝「アブド・アッラー72世」
- 903年7月27日-01:00|チュニジア| ||<即位>アッラブ朝「スィヤダ・アラ73世」(~909年)
- 903年7月30日-01:00|バチカン| ||<死去>第117代ローマ教皇「ベネディクトゥス4世」
- 903年7月30日-01:00|バチカン| ||<就任>第118代ローマ教皇「レオ5世」(~903.12死去)
- 903年8月20日-09:00|日本| ||延喜3年7月25日|<死去>是貞親王(生年生年未詳/皇族)
- 903年8月25日-09:00|日本| ||延喜3年8月|朝廷が太宰府での公家交易優先令を発布
- 903年9月6日-09:00|日本|愛知県|延喜3年8月13日|三河国宝飯郡の一部を割いて、設楽郡を置いた
- 903年10月-01:00|バチカン| ||<就任>対立ローマ教皇「クリストフォルス」(~904.1)
- 903年10月7日-08:00|中国| ||唐・天復3年9月14日|朱全忠が棣州を陥落させ、密州を陥落させた
- 903年10月14日-08:00|中国| ||唐・天復3年9月21日|平盧軍節度使の王師範が叛いて朱全忠についた
- 903年10月23日-08:00|中国| ||唐・天復3年10月|忠義軍の將の趙匡明が江陵を陥落させ、王建が忠・萬・施の三州を陥落させた
- 903年10月30日-08:00|中国| ||唐・天復3年10月8日|王建が7州を陥落させた
- 903年11月2日-08:00|中国| ||唐・天復3年10月11日|平盧軍の將の劉瑾が7州をもって叛いて朱全忠についた
- 903年12月-01:00|バチカン| ||<死去>第118代ローマ教皇「レオ5世」
- 903年12月22日-08:00|中国| ||唐・天復3年12月|楊行密が宣州を陥落させた
- 903年12月26日-09:00|日本| ||延喜3年12月5日|<死去>穆子内親王(生年生年未詳/皇族、賀茂齋院)
- 904年-06:30|ミャンマー| ||<即位>アラカン国王「トウリヤラサ」(~936年)
- 904年-04:00|オマーン| ||<即位>オマーン(元首)「マーム・アル・ハバリ・ビン・マトラフ」
- 904年-03:00|イェメン| ||<即位>ジャディット朝「アブ・イブラヒム・ジャシ・イシャク・イブン・イブラヒム」(~981年)
- 904年-01:00|スペイン| ||<再任>カスティーリャ伯「Munio Nunez」(~909年)
- 904年 00:00|イギリス| ||<死去>ダフエト王「Llywarch ap Hyfaidd」
- 904年 00:00|イギリス| ||<死去>ノーザンブリア王「Ivarr」
- 904年 00:00|モロッコ| ||<死去>モロッコ国王「ヤフヤー・イブン・アル・カスィム(ヤフヤー3世)」
- 904年 00:00|イギリス| ||<即位>ダフエト王「Rhodri ap Hyfaidd」(~905年死去)
- 904年 00:00|イギリス| ||<即位>ノーザンブリア王「Halfdan」(~09100805死去)
- 904年 00:00|モロッコ| ||<即位>モロッコ国王「ヤフヤー・イブン・イトリス・イブン・ウマル(ヤフヤー4世)」(~917年死去)
- 904年1月21日-09:00|韓国/朝鮮| ||摩震・武泰1年|後高句麗の弓裔が国号を摩震と改め、武泰の年号を用いた

0950迄 (1307件)

904年1月29日-01:00|バチカン| ||<就任>第119代ローマ教皇「セルギウス3世」(~09110414死去)  
904年2月11日-08:00|中国| ||唐・天復4年1月22日|朱全忠が唐の都を洛陽に遷した  
904年5月28日-08:00|中国| ||唐・天祐1年閏4月11日|唐第22代皇帝「昭宗李敏」が天祐(~4年(907年)3月)に改元  
904年9月22日-08:00|中国| ||唐・天祐1年8月11日|<死去>唐第22代皇帝「昭宗李敏」朱全忠の仮子朱友恭と氏叔琮に殺害される  
904年9月26日-08:00|中国| ||唐・天祐1年8月15日|衢州刺史の陳璋と睦州刺史の陳詢が叛いて楊行密についた  
904年9月27日-08:00|中国| ||唐・天祐1年8月16日|<即位>唐第24代皇帝「哀帝李晷」昭宗の九男/13歳(~907年5月12日)  
904年11月10日-08:00|中国| ||唐・天祐1年10月1日|朔、日食があった  
904年12月10日-08:00|中国| ||唐・天祐1年11月|朱全忠が光州を陥落させた  
904年12月30日-02:00|エジプト| ||<死去>トゥールン朝第4代アミール「ハルーン・ブン・フマーラウフ」殺害される  
904年12月30日-02:00|エジプト| ||<即位>トゥールン朝第5代アミール「シャイブーン・ブン・アフマド・ブン・トゥールン」(~090501107ルムクタフィー治世下のアッハース朝が派遣した将軍、ムハンマド・ブン・スライマーンによる再征服)  
905年-07:00|ベトナム| ||ベトナムで曲承祐が唐・支配から自立し節度使を称する  
905年-05:30|インド| ||<即位>チャンドラ朝国王「シリハルシャ」(~925年)  
905年-01:00|スペイン| ||<廃位>ハンブローナ王・ナバラ王「ワルトゥン・ガルス」修道院へ隠遁  
905年-01:00|スペイン| ||即位>ハンブローナ王・ナバラ王「サンチョ・ガルス1世」ガルス・ヒメスとDadildis de Pallarsの男子(~9251211死去)  
905年 00:00|イギリス| ||<死去>ダフエト王「Rhodri ap Hyfaidd」  
905年 00:00|イギリス| ||<即位>ダフエト王「Hywel Dda ap Cadell」(~920年)  
905年1月10日-02:00|エジプト| ||<就任>アッハース朝エジプト第1代アミール「イ・ヒン・ムハンマド・アルヌシャリ」(~910死去)  
905年1月10日-02:00|エジプト| ||<廃位>トゥールン朝第5代アミール「シャイブーン・ブン・アフマド・ブン・トゥールン」アルムクタフィー治世下のアッハース朝が派遣した将軍、ムハンマド・ブン・スライマーンによる再征服  
905年2月7日-09:00|韓国/朝鮮| ||摩震・聖冊1年|後高句麗(摩震)の弓裔が聖冊(-910年)と改元  
905年2月7日-08:00|中国| ||唐・天祐2年1月|盧約が温州を陥落させた  
905年3月9日-08:00|中国| ||唐・天祐2年2月|楊行密が鄂州を陥落させ、武昌軍節度使の杜洪がここに死んだ  
905年3月17日-08:00|中国| ||唐・天祐2年2月9日|<死去>唐第23代皇帝「(徳王李裕)李裕」朱全忠が遣わした刺客の手によって絞め殺された  
905年5月-01:00|イタリア| ||<即位>イタリア対立王「フルゴ・ニュー公ルトウ・ヒ3世」(~7月)  
905年5月21日-09:00|日本| ||延喜5年4月15日|月蝕、乾方に彗星見ゆ。16、18、19日にも見ゆ/29日まで毎夜見える  
905年5月24日-09:00|日本| ||延喜5年4月18日|勅命によって編まれた最初の勅撰和歌集「古今和歌集」が醍醐天皇に奏上/撰者は紀貫之、紀友則、壬生忠岑、凡河内躬恒  
905年6月6日-08:00|中国| ||唐・天祐2年5月|王建が金州を陥落させ、戎昭軍節度使の馮行襲が均州に逃れた  
905年7月5日-08:00|中国| ||唐・天祐2年6月|馮行襲が金州で勝利/楊行密が州を陥落させ、刺史の沈夏を捕らえた  
905年7月21日-01:00|イタリア| ||<廃位>イタリア対立王「フルゴ・ニュー公ルトウ・ヒ3世」フルーリ侯ベレンガ・リヨ1世が、ヴェローナで捕らえ、目を潰してプロヴァンスに追放  
905年8月4日-08:00|中国| ||唐・天祐2年7月|岳州刺史の鄧進忠が叛いて馬殷についた  
905年8月31日-09:00|日本| ||延喜5年7月28日|<死去>源是恒(生年生年未詳/皇族)  
905年9月20日-09:00|日本| 福岡県太宰府市|延喜5年8月19日|太宰府天満宮創建  
905年10月6日 07:00|日本| 京都府京都市|延喜5年9月5日|高陽院焼亡  
905年10月9日-08:00|中国| ||唐・天祐2年9月8日|朱全忠が襄州を陥落させ、忠義軍節度使の趙匡凝が淮南に逃れた  
905年10月11日-08:00|中国| ||唐・天祐2年9月10日|朱全忠が江陵を陥落させ、留後の趙匡明が成都に逃れた  
905年11月29日-08:00|中国| ||吳・天祐2年11月|<死去>吳第1代皇帝「武忠王(楊行密)」病死  
905年11月29日-08:00|中国| ||吳・天祐2年11月|<即位>吳第2代皇帝「景王(楊渥)」(~908年)  
906年-03:00|イラク/シリア・アラブ| ||<即位>ハムダーン朝アミール「アブ・ダーラ・イブン・ハマダーン」(~929年)  
906年-01:00|フランス| ||<死去>アカソヌ伯「Acfred1世」  
906年-01:00|チェコ/スロバキア/ハンガリー| ||<死去>モラヴィア王「モミール2世」  
906年-01:00|フランス| ||<就任>アカソヌ伯「Bencion1世」Oliba2世の息子(~908年)  
906年-01:00|アルジェリア| ||<即位>ルスラム朝イマム「ヤクザーン」(~909年)  
906年-01:00|チェコ/ハンガリー| ||マジヤール人がチェク人のモラヴィア王国を滅ぼし支配(~956年)  
906年1月28日-08:00|中国| ||唐・天祐3年|<死去>渤海王「大伾」  
906年1月28日-08:00|中国| ||唐・天祐3年|<即位>渤海王「哀王大伾」(~926年死去)  
906年2月4日-08:00|中国| ||唐・天祐3年1月8日|淮南の将の王茂章が宣・歙の二州をもって叛いて錢鏐についた  
906年2月26日-08:00|中国| ||吳・天祐3年2月|楊渥が岳州を陥落させた  
906年2月27日-01:00|ドイツ| ||<死去>テューリンゲン公「コンラート」  
906年2月27日-01:00|ドイツ| ||<即位>フランケン大公「コンラート1世若王」(~09111110東フランク王)  
906年3月7日-08:00|中国| ||唐・天祐3年2月10日|王建が綿州を陥落させた  
906年4月26日-08:00|中国| ||唐・天祐3年4月1日|朔、日食があった  
906年6月25日-08:00|中国| ||唐・天祐3年6月|錢鏐が衢・睦の二州を陥落させ、刺史の陳璋・陳詢が淮南に逃れた

0950迄 (1307件)

- 906年7月24日-08:00|中国| ||呉・天祐3年7月|楊渥が饒州を陥落させた
- 906年8月24日-08:00|中国| ||唐・天祐3年8月2日|朱全忠が相州を陥落させた
- 906年9月21日-08:00|中国| ||呉・天祐3年9月|楊渥が洪州を陥落させ、鍾匡時を捕らえた
- 906年10月-03:00|イラク| |||カマト派の指導者カーシムはカーファを急襲するが撃退される
- 906年10月15日-08:00|中国| ||唐・天祐3年9月25日|匡国軍節度使の劉知俊が坊州を陥落させ、刺史の劉彦暉を捕らえた
- 906年10月21日-08:00|中国| ||唐・天祐3年10月1日|楊崇本が鳳翔・涇原・7延・秦隴の兵と合流して朱全忠を討ち、美原で戦ったが、敗れた
- 907年-08:00|モンゴル| |||テンゲリ・ハンが独立キイ部族長に就任
- 907年-05:30|インド| |||<死去>チョーラ朝国王「Aditya Chola1世」
- 907年-05:30|インド| |||<即位>チョーラ朝国王「パラントカ1世」(~950年死去)
- 907年-04:00|ロシア/ウクライナ/トルコ| |||キエフ公国のオレグがビザンティンに遠征し、通商条約を締結
- 907年-01:00|ハンガリー| |||<死去>ハンガリー大公「アルパート」
- 907年-01:00|フランス| |||<死去>ブルグニユ王「アラン1世大アラン」
- 907年-01:00|フランス| |||<死去>モー伯「Herbert1世」
- 907年-01:00|フランス| |||<就任>ヴェルマントワ伯・モー伯「Herbert2世」(~943年死去)
- 907年-01:00|ドイツ| |||<即位>テューリンゲン公「フルカルト」コンラートの親族(~9080803マジヤール人との戦闘で戦死)
- 907年-01:00|ハンガリー| |||<即位>ハンガリー大公「ソルトン」アルパートの息子(~950年死去)
- 907年-01:00|フランス| |||<即位>ブルグニユ公「グルマロン」コルヌバイン伯、王国の後見人として統治(~913年死去)
- 907年2月5日-08:00|中国| ||唐・天祐3年閏12月20日|李克用が州を陥落させ、昭義軍節度使の丁会が叛いて李克用についた
- 907年2月15日-08:00|中国| ||唐・天祐4年|<死去>渤海国王「大伾伊」
- 907年2月15日-08:00|中国| ||唐・天祐4年|<即位>岐皇帝「李茂貞」、唐より禅譲した後梁に従わず自立
- 907年2月15日-08:00|中国| ||唐・天祐4年|<即位>渤海国王「大イセン」(~同光4年(926年))
- 907年2月15日-08:00|中国| ||呉・天祐4年|呉・張顥と徐温はカーデターをおこし、楊渥から権力を奪取
- 907年2月15日-08:00|中国| ||渤海・文徳1年|渤海・大イセンが文徳(-926年)と改元
- 907年2月27日-08:00|中国| ||契丹・太祖1年1月13日|<即位>契丹(キタイ)族可汗「太祖耶律阿保機」(第1次即位)
- 907年4月10日-09:00|日本| ||延喜7年2月25日|彗星、太白星を食す。長さ3丈ばかり
- 907年5月12日-08:00|中国| ||唐・天祐4年3月27日|<退位>唐第24代皇帝「哀帝李シユク」讓位
- 907年5月26日-08:00|中国| ||唐・天祐4年4月12日|錢鏐が温州を陥落させた
- 907年6月1日-08:00|中国| ||後梁・開平1年4月18日|<即位>後梁初代皇帝「太祖(朱全忠)」(~912年7月18日)/唐主の李シユク(哀宗)を濟陰王とする(唐滅亡)(五代十国時代の始まり)
- 907年6月5日-08:00|中国| ||後梁・開平1年4月22日|後梁初代皇帝「太祖(朱全忠)」開平に改元(-911年4月)
- 907年6月8日-08:00|中国| ||後梁・開平1年4月25日|<即位>楚初代皇帝「武穆王(馬殷)」(~930年12月2日)
- 907年6月16日-08:00|中国| ||後梁・開平1年5月3日|<即位>呉越第1代皇帝「太祖武肅王(錢鏐)」(~932年5月6日)
- 907年7月4日-01:00|ドイツ| |||<死去>バイエルン辺境伯「ルートボルト」
- 907年7月4日-01:00|ドイツ| |||<即位>バイエルン公「アルヌルフ」ルートボルトの息子(⇒920年バイエルン大公~09370714死去)
- 907年7月6日-01:00|オーストリア/ハンガリー| |||エンス河畔の戦いで、オスマルク辺境伯「ルートボルト」の軍が、マジヤール軍に敗れる/フランク王国はオスマルクを失う
- 907年11月-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<即位>サーマーン朝アミール「アフマド」(~09140112死去)
- 907年11月3日-08:00|中国| ||前蜀・天復7年9月25日|<即位>前蜀第1代皇帝「高祖(王建)」(~918年7月11日)元号を天復と改め、国号を大蜀と定めた
- 907年11月24日-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<死去>サーマーン朝アミール「イスマイル・サーマーン」
- 907年12月10日-09:00|日本| ||延喜7年11月3日|延喜通宝(皇朝十二銭の十一)、鑄造
- 907年12月22日-09:00|日本| ||延喜7年11月15日|左大臣藤原時平ら延喜格を撰上
- 908年-04:30|アフガニスタン/イラン| |||<即位>サッファール朝第4代国王「ライス」(~910年)
- 908年-01:00|フランス| |||<就任>エノー伯「レニエ1世」(~915年死去)
- 908年-01:00|フランス| |||<就任>アカソヌ伯「Acfred2世」Oliva2世の息子(~934年死去)
- 908年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア公「ミロスラフ」(~912年)
- 908年 00:00|イギリス| |||<死去>ストラスカイト王「Dyfnwal1世」
- 908年 00:00|イギリス| |||<即位>ストラスカイト王「Domhnall mac Aoidh(Dyfnwal2世)」(~934年以前死去)
- 908年1月7日-08:00|中国| ||後梁・開平1年12月|ウイグル(回鶻,西ウイグル王国,新疆維吾爾自治区吐魯番あたりを中心とする)、契丹に使を遣わす
- 908年2月5日-08:00|中国| ||呉越・天寶1年|呉越において錢鏐が天寶(-912年)と改元
- 908年2月5日-08:00|中国| ||前蜀・武成1年|前蜀において王建が武成(-910年)と改元
- 908年3月26日-08:00|中国| ||後梁・開平2年2月22日|<死去>唐第24代唐皇帝「哀帝李シユク」皇帝朱晃(朱全忠)によって、曹州(山東省)で毒殺された
- 908年6月2日-08:00|中国| ||呉・天祐5年5月|<死去>呉第2代皇帝「景王(楊渥)」張顥と徐温に殺害される
- 908年6月10日-08:00|中国| ||呉・天祐5年5月9日|<即位>呉第3代皇帝「宣王(楊隆演)」(~920年6月17日)
- 908年8月3日-01:00|ドイツ| |||<死去>テューリンゲン公「フルカルト」マジヤール人との戦闘で戦死
- 908年8月13日-03:00|イラク| |||<即位>バグダート・アッバース朝第18代カリフ「ムクタディル」(~09290228退位)
- 908年9月28日-08:00|中国| ||呉・天祐5年9月|蜀王・王建、岐王・李茂貞および楊崇本が組んで梁の大安を挟撃、

晋王李存勖はこのとき周徳威を派遣して晋州を襲わせ神山中で梁軍を撃ち破る

- 908年12月26日-09:00|日本| ||延喜8年12月|「延喜格式」、施行される
- 909年-03:30|イラン/アフガニスタン| |||<死去>サッファール朝アミール「アフ・ハサン・ターヒル」
- 909年-03:30|イラン/アフガニスタン| |||<即位>サッファール朝アミール「アル=ライス」(~910年)
- 909年-01:00|ドイツ/スイス| |||<即位>シュヴァーベン大公「フルヒャルト1世」(~9111105死去)
- 909年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソングアイ王国国王「ヒヤイ・コマイ」(~921年)
- 909年 00:00|イギリス| |||<死去>セイサルウイク王「カテル・アブ・ドマリ」
- 909年 00:00|イギリス| |||<即位>セイサルウイク王「ハウエル・デ・イーダ」(⇒王~950年デ・ヒューバースに統合デ・ヒューバース王国を形成)
- 909年3月26日-01:00|リビア/エジプト| |||トリホリタニアはエジプトに編入(~977年)
- 909年4月27日-08:00|中国| ||後梁・開平3年4月5日|<即位>ビソン王「太祖昭武孝皇帝・王審知」後梁より封ぜられる  
(~同光3年12月12日(925年12月30日)死去)
- 909年9月2日-01:00|フランス| |||ギヨーム1世がブルゴニュにクレユエ修道院を設立
- 909年11月-01:00|チュニジア| |||<即位>ファティマ朝初代カリフ「アル=マフディー・ビラー」建国(~9340304死去)
- 909年11月-01:00|チュニジア| |||<廃位>アグラ朝「スィヤータ・アラフ3世」イスマイル派のウァイト・アッラーに滅ぼされる
- 910年-07:00|カンボジア| |||<即位>クメール王朝国王「ハルシャウアルマン1世」(~923年死去)
- 910年-07:00|ベトナム| |||<即位>チャンパ王「イントラウアルマン3世」(~960年)
- 910年-05:30|インド| |||<即位>プラーティハール朝国王「ホーシヤ2世」(~913年)
- 910年-03:30|イラン/アフガニスタン| |||<即位>サッファール朝アミール「ムハンマド1世」(~911年)
- 910年-02:00|エジプト| |||<就任>アッハース朝エジプト第2代アミール・タキン・アルサ・アブ・マンスール・タキン・イブン・アブ・ダラ・アルハルビ・アルカサリ(~09150531解任)
- 910年-02:00|ギリシャ| |||<就任>イクリテヤ(クレタ島)首長「ユスフ・フン・ウマル」(~915年)
- 910年-01:00|イタリヤ| |||<死去>ベネチント大公・カプア公「アテナル1世」
- 910年-01:00|フランス| |||<就任>ヒューゴール伯「Donatus Lupus2世」(~930年)
- 910年-01:00|イタリヤ| |||<即位>カプア公「ランドルフ3世」(ベネチント大公「ランドルフ1世」~9430410死去)
- 910年2月13日-09:00|朝鮮| ||高麗・天授1年|高麗で天授(-933年)と改元
- 910年2月13日-08:00|中国| ||後梁・開平4年|<死去>大長和初代皇帝「聖祖聖明文武威徳桓皇帝」
- 910年2月13日-08:00|中国| ||後梁・開平4年|<即位>大長和第2代皇帝「肅文太上皇帝(鄭仁旻)」(~926年)
- 910年2月13日-08:00|中国| ||南詔・始元1年|南詔・鄭仁旻が始元と改元(-926)
- 910年4月7日-09:00|日本| ||延喜10年2月25日|<死去>均子内親王(生年890年/皇族、歌人)
- 910年6月10日-09:00|日本| ||延喜10年5月|<任命>鎮守府將軍「藤原茂永」(~不詳)
- 910年6月22日-01:00|フランス| |||<死去>ロランギア大公「ケーフハルト」
- 910年6月22日-01:00|フランス| |||<即位>ロランギア大公「Reginar」(~915年)
- 910年8月5日 00:00|イギリス| |||<死去>ノーザンブリア王「Halfdan」
- 910年8月5日 00:00|イギリス| |||アングロサクソンがノーザンブリアを統治(~918年)
- 910年12月20日-01:00|スペイン| |||<死去>アストゥリアス王・レオン国王「アルフォンソ3世大王」王国は3人の息子の間で分割され、ガルスア1世はレオンを、オルドーニョ2世はガリシアを、フルエラ2世はアストゥリアスをそれぞれ相続
- 910年12月20日-01:00|スペイン| |||<即位>アストゥリアス王「フルエラ2世」(~925.7死去、アストゥリアスはレオン王アルフォンソ4世によって掌握)
- 910年12月20日-01:00|スペイン| |||<即位>ガルスア王「オルドーニョ2世」(~914年兼レオン王~924.6死去)
- 910年12月20日-01:00|スペイン| |||<即位>レオン国王「ガルスア1世」(~914年死去)
- 911年-03:30|イラン/アフガニスタン| |||<即位>サッファール朝アミール「Al-Mu'addal」(~911年)
- 911年-03:30|イラン| ||サーマン朝が支配域をシスターンまで広げる
- 911年-02:00|キプロス/イラン| |||キプロスはアッハース朝カリフに占領される(~912年)
- 911年-02:00|トルコ| ||コンスタンティノブルの同組織組合規約書「総督の書」がなる
- 911年-01:00|スペイン| |||<死去>ハルゼン伯「ギフレ2世ホレイ」
- 911年-01:00|スペイン| |||<就任>アルル伯「Hugh」Theobaldの息子(~923年死去)
- 911年-01:00|フランス| |||<就任>ナント伯「Robert」
- 911年-01:00|スペイン| |||<就任>ハルゼン伯「スエー1世」ギフレ2世の弟(~947年、修道院へ引退)
- 911年-01:00|フランス| |||<即位>ノルマンディー公「ロド(ロベール1世) 徒歩公」(~927年)
- 911年-01:00|フランス| |||<即位>プロヴァンス公(摂政)「ユーク・ダール」アルル伯(⇒924年兼イタリヤ王~933年)
- 911年-01:00|イタリヤ| |||<即位>ベネチント大公・カプア公「アテナル2世」(~940年死去)
- 911年-01:00|フランス| |||シャルル3世がノルマン人首長ロドにノルマンディーを授封<就任>ノルマンディー公(ノルマンディー家)ロド(ロベール1世)「徒歩公」(~925年)
- 911年-01:00|フランス| |||プロヴァンス王国首都をグィエンスからアルルに移した
- 911年2月2日-09:00|韓国/朝鮮| ||泰封・水徳万歳1年|弓裔が国号を泰封と称し年号を水徳万歳と改元
- 911年2月2日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|延喜11年|那古野神社創建
- 911年2月2日-08:00|中国| ||前蜀・永平1年|前蜀において王建が永平(-915年)と改元
- 911年2月2日-08:00|中国| ||吳・天祐8年1月|晋は梁軍を柏郷の戦いで破り大勝利/進んで荊州を攻めるも下せず、魏州を攻撃、別將として周徳威を派遣し夏津、高唐を占領させ、また博州を攻め、東武、朝城を攻め破り、さらに黎陽、臨河、淇門を立て続けに攻めて新郷、共城を掠A091104140
- 911年4月14日-01:00|バチカン| |||<死去>第119代ローマ教皇「セルギウス3世」
- 911年4月14日-01:00|バチカン| |||<就任>第120代ローマ教皇「アスタシウス3世」(~913.6死去)

- 911年5月31日-08:00|中国| ||後梁・乾化1年5月|後梁初代皇帝朱全忠が乾化(-913年1月)と改元  
 911年5月31日-08:00|中国| ||後梁・乾化1年5月|刺葛(阿保機の弟)ら、謀反/阿保機、その罪を赦す  
 911年6月9日-09:00|日本|奈良県奈良市|延喜11年5月10日|大安寺焼亡  
 911年7月11日-09:00|日本|埼玉県飯能市|延喜11年6月13日|子ノ聖が初めてこの地に十一面観音をお祀りし天龍寺(子ノ権現)創建<天台宗>  
 911年8月19日-03:00|イェメン| ||<死去>ラッシー朝イマム「アルハテ・イ・イラルハック・ヤヤ」  
 911年8月19日-03:00|イェメン| ||<即位>ラッシー朝イマム「アルムルタダ・ムハンマド」前イマムの兄弟(~91309退位~9220501死去)  
 911年9月-04:00|ロシア/ウクライナ/トルコ| ||キエフ公国とビザンティン帝国が関係を樹立  
 911年9月8日-08:00|中国| ||後梁・応天1年8月13日|<建国>後梁皇帝「劉守光」(~914年1月4日)唐より禅譲された後梁に従わず自立、応天と改元する  
 911年9月20日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア| ||<死去>フランク・ローマ帝国皇帝・東フランク王「ルートヴィヒ4世幼童王」8歳(誕生893年)東フランクのカロリング家が断絶  
 911年9月24日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア| ||<就任>フランク・ローマ帝国宰相「マインツ大司教ハット」(2回目~11.10)  
 911年9月24日-01:00|フランス/ベルギー-ドイツ/ルクセンブルグ/オランダ| ||<即位>ロタリンギア王「シャルル単純王」(~923年ロタリンギアは東フランク王国へ包含された)  
 911年11月5日-01:00|ドイツ/スイス| ||<死去>シュヴァーベン大公「フールトバルト1世」  
 911年11月10日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア| ||<即位>フランク・ローマ帝国国王・東フランク王「コンラート1世若王」(~9181223死去)  
 911年11月10日-01:00|ドイツ| ||<即位>フランク大公「エーハールト3世」(~9391002死去)  
 912年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプura王国国王「Kassapa4世」Sena2世の息子(~929年)  
 912年-04:00|オマーン| ||<即位>オマーン(元首)イマム:オマル・ビン・モハメッド  
 912年-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<死去>キエフ大公「オレグ」  
 912年-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<即位>キエフ大公「イゴリ・リュリコウイチ1世」(~945年死去)  
 912年-01:00|イタリア| ||<就任>ヴェネツィア共和国第18代ドージェ(元首)「オルソ・バルテザツィオ2世」(~932年)  
 912年-01:00|スペイン| ||<就任>カスティール伯「Gonzalo Fernandez」(~916年)  
 912年-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチア公「ブリアニャ」(~915年)  
 912年-01:00|スペイン| ||<就任>バサル伯「Miro1世」(~927年死去)  
 912年1月22日-09:00|韓国| ||新羅・孝恭王16年|<死去>新羅王「孝恭王」  
 912年1月22日-09:00|韓国| ||新羅・神徳王1年|<即位>新羅王「神徳王」(~917年死去)  
 912年1月22日-08:00|中国| ||後梁・乾化2年|<即位>荊南第1代皇帝「武信王(高季興)」(~9290128)  
 912年1月22日-08:00|中国| ||後梁・乾化2年|<即位>ホーチン王「尉遲僧烏波(李聖天)」(~966年)  
 912年1月22日-08:00|中国| ||于阗・同慶1年|于阗の尉遲僧烏波が同慶(-966年)と改元  
 912年1月22日-08:00|中国| ||吳・天祐9年1月|晋王は周徳威を派遣して鎮州、定州の兵で燕を攻めさせ、守光は梁に援軍を求め、梁は趙を攻め、棗疆城を屠城、対して晋王は李(符)存信をもって梁軍に反撃、撃破  
 912年2月29日-08:00|中国| ||契丹・太祖6年2月9日|契丹、幽州を攻める  
 912年5月2日-03:30|イラン/アフガニスタン| ||<即位>サッファール朝第6代アミール「アムル2世」(~9130524)  
 912年5月11日-02:00|トルコ| ||<死去>東ローマ帝国皇帝(マクドニア朝)「レオン6世フィロソフス(賢帝)」  
 912年5月11日-02:00|トルコ| ||<即位>東ローマ帝国皇帝(マクドニア朝)「アレクサンドロス」ハシイオス1世の子でレオン6世の弟(~9130606死去)879年に共同皇帝となり兄が亡くなると甥のコンスタンティン7世がまだ幼かったため、後継者となった  
 912年7月18日-08:00|中国| ||後梁・乾化2年6月2日|<死去>後梁第1代皇帝「太祖(朱全忠)」第三子の朱友珪に殺害される  
 912年7月19日-09:00|日本| ||延喜12年6月3日|戌亥角に彗星現る。9日に至る。12日酉方に再度現る  
 912年7月21日-08:00|中国| ||後梁・乾化2年6月5日|<即位>後梁第2代皇帝「郢王(朱友珪)」(~913年3月27日)  
 912年8月15日-08:00|中国| ||契丹・太祖6年7月1日|契丹、平州(河北省盧龍県)を攻める  
 912年9月14日-08:00|中国| ||後梁・乾化2年8月|朱全忠が死ぬと、荊南・高季興が荊州(湖北省江陵)・鼎州(シ鼎)・峽州(宜昌)の3州をもって自立/末帝(朱友貞)が即位すると後梁に再び帰順し、渤海王に封じられた  
 912年10月15日-01:00|スペイン| ||<死去>後ウマイヤ朝第7代アミール「アブド・アッラーフ」  
 912年10月16日-01:00|スペイン| ||<即位>後ウマイヤ朝第8代アミール「アブド・アッラフマン3世」(~9290116初代カガブ~9611015死去)  
 912年10月25日-01:00|フランス/スイス| ||<死去>ユーラップルグント王「ルトル1世」  
 912年10月25日-01:00|フランス/スイス| ||<即位>ユーラップルグント王「ルトル2世」(933年下ブルグント(キヌワップルグント王国、プロヴァンス王国)を併合~9370711死去)  
 912年11月15日-08:00|中国| ||契丹・太祖6年10月4日|契丹、平州を破る  
 912年11月30日-01:00|ドイツ| ||<死去>ザクセン公「オットー1世」  
 912年11月30日-01:00|ドイツ| ||<即位>ザクセン公「ハインリヒ1世」(⇒9190504兼東フランク王「ハインリヒ1世捕鳥王」~9360702死去)  
 912年11月30日-08:00|中国| ||契丹・太祖6年10月19日|契丹、刺葛ら、4日に謀反するも阿保機に謝罪  
 913年-08:00|インドネシア| ||<即位>古マタラム王国国王「タマサ」(~919年)  
 913年-08:00|インドネシア| ||<即位>スンダ王国マハラジャ「Rakeyan Kemuning Gading Prabu Pucukwesi」(~916年)  
 913年-05:30|インド| ||<即位>パラティハール朝国王「マヒパール1世」(~944年)  
 913年-02:00|ブルガリア/トルコ| ||ブルガリア王国のシモン汗がコンスタンティノブルを攻撃するが失敗  
 913年-01:00|フランス| ||<死去>ブルターニュ公「ケルマロン」

- 913年2月9日-08:00|中国| ||呉越・鳳暦1年|呉越・錢鏐が後梁の年号を使用(-923年)
- 913年2月9日-08:00|中国| ||後梁・鳳暦1年1月|帝位を篡奪した2代皇帝朱友珪が鳳暦(-2月)に改元
- 913年3月27日-08:00|中国| ||後梁・乾化3年2月17日|<死去>後梁第2代皇帝「郢王(朱友珪)」侍衛親軍都指揮使の袁象先らが宮中でクーデターを起こし殺害
- 913年3月27日-08:00|中国| ||後梁・乾化3年2月17日|<即位>後梁第3代皇帝「末帝(朱友貞)」(~923年11月18日)、元号を「乾化」に戻した(-915年10月)
- 913年4月19日-08:00|中国| ||契丹・太祖7年3月10日|契丹の刺葛、自立する
- 913年6月-03:00|パレール| ||<死去>カルマティヤ君主「Abu-Sa'id Jannabi」
- 913年6月-01:00|パチン| ||<死去>第120代ローマ教皇「アナタシウス3世」
- 913年6月6日-02:00|トルコ| ||<死去>東ローマ帝国皇帝(マケドニア朝)「アレクサンドロス」
- 913年6月6日-02:00|トルコ| ||<即位>東ローマ帝国皇帝(マケドニア朝)「コンスタンティヌス7世ホルフカケネス(緋色の産室生まれ)」レオン6世の子(~959/1109死去)920年~944年は共同皇帝。叔父のアレクサンドロスが亡くなると帝位に就いた。母で摂政のゾエ・カレノポリスがブルガリア帝国と戦って敗れ、その権威が失墜すると、帝国海軍の司令長官ロサス・レカノスがクーデターを起こして実権を掌握し共同皇帝に格下げられた。944年、ロサス1世によって後継者に指名される。これに反対してロサス1世の次男と三男とクーデターを起こすが民衆の支持を受けていたため二人を逮捕させて追放し正帝の座を回復
- 913年6月19日-08:00|中国| ||契丹・太祖7年5月13日|契丹の刺葛、囚われる
- 913年7月7日-01:00|パチン| ||<就任>第121代ローマ教皇「ラント」(~914/0205死去)
- 913年7月24日-09:00|日本| ||延喜13年6月18日|<死去>恬子内親王(生年848年/皇族、第31代伊勢斎宮)
- 913年9月-03:00|イェメン| ||<即位>ラッシー朝イマーム「アブ・アッ・ムカッ・ム」前イマームの兄弟(~934/0605死去)
- 913年9月-03:00|イェメン| ||<退位>ラッシー朝イマーム「アムル・ムタ・ムハンマド」(~922/0501死去)
- 914年-05:30|インド| ||<即位>ラシュトラクータ朝国王「インドラ3世」(~929年死去)
- 914年-04:00|アルメニア| ||<死去>パグラトゥニ朝アルメニア王「スハト1世」
- 914年-04:00|アルメニア| ||<即位>ウァスプラカン王「ガギク1世」建国(~943年)
- 914年-04:00|アルメニア| ||<即位>パグラトゥニ朝アルメニア王「アショット2世」(~929年、死去)
- 914年-03:30|イラン| ||<即位>アラウイ朝エミール「ハサン・イブン・アリー」(~917.1死去)
- 914年-02:00|ウクライナ| ||<即位>キエフ大公「イゴリ1世」ウゴロド公イゴリ・リュリコフイフ(~945年死去)
- 914年-01:00|スペイン| ||<死去>レオン国王「ガルシア1世」
- 914年-01:00|スペイン| ||<即位>レオン国王「オルドノ2世」ガルシア王(~924.6死去)
- 914年1月4日-08:00|中国| ||後梁・乾化3年12月6日|<退位>梁燕皇帝「劉守光」前晋により本拠地の幽州が陥落、幽閉されていた劉仁恭とともに囚われの身になり僅か2年で梁燕は滅亡
- 914年1月12日-05:00|ウズベキスタン/キルギス/タジキスタン| ||<死去>サーマン朝アミール「アムド」
- 914年1月12日-05:00|ウズベキスタン/キルギス/タジキスタン| ||<即位>サーマン朝アミール「ナシル2世」(~943/0406死去)
- 914年1月29日-09:00|韓国/朝鮮| ||泰封・政開1年|後高句麗(泰封)の弓裔が政開(-918年)と改元
- 914年2月5日-01:00|パチン| ||<死去>第121代ローマ教皇「ラント」
- 914年2月12日-08:00|中国| ||後梁・乾化4年1月15日|<死去>元梁燕皇帝「劉守光」李存勖によって斬殺された
- 914年3月-01:00|パチン| ||<就任>第122代ローマ教皇「ヨハネス10世」(~928/0528死去)
- 914年3月22日-09:00|日本| ||延喜14年2月23日|<死去>掲子内親王(生年生年未詳/皇族)
- 914年5月29日-09:00|日本| 京都府京都市|延喜14年5月2日|京都大火、左京一条・二条大火、民家617戸焼失
- 914年6月-02:00|エジプト/チュニジア| ||ファティマ朝がアレクサンドリアを占領しエジプトへ支配域を拡大
- 914年8月24日-09:00|日本| ||延喜14年8月|地子稲を確保するための種々の改革をおこない地子交易価法を定める
- 915年-02:00|ギリシャ| ||<就任>イクリティア(クレタ島)首長「アリー・ブ・ユスフ」(~925年)
- 915年-01:00|フランス| ||<死去>エノー伯「レニエ1世」
- 915年-01:00|イタリア| ||<死去>パトリック公「ケレゴリ4世」
- 915年-01:00|チェコ| ||<死去>ボヘミア公「スピチフネフ1世」
- 915年-01:00|スペイン/フランス| ||<就任>アンブリアス伯・ルシオン伯「Bencion」(~916年死去)、「Gausbert」(~931年死去)
- 915年-01:00|フランス| ||<就任>ウァロア伯・ウァクサン伯「Ralph1世」(~926年)
- 915年-01:00|フランス| ||<就任>エノー伯「レニエ2世」(~932年死去)
- 915年-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチア公「トミスラフ」(⇒925年、クロアチア王~928年)
- 915年-01:00|ドイツ| ||<就任>ロティンギア宮中伯「ヒトガウ伯ウイグリック」(~922年)
- 915年-01:00|イタリア| ||<即位>パトリック公「ジヨ2世」(~919年死去)
- 915年-01:00|チェコ| ||<即位>ボヘミア公「ウラチスラフ1世」(~921/0213死去)
- 915年-01:00|フランス| ||<即位>ロティンギア大公「ギゼルベルト」レニエ家(~939/1002)
- 915年-01:00|イタリア| ||ガエタ、ガリニャーノの戦いでサラセン人に勝利
- 915年1月18日-09:00|日本| ||延喜15年|<任命>鎮守府将軍「藤原利仁」(~不詳)
- 915年3月31日-02:00|エジプト| ||<就任>アッバース朝エジプト第3代アミール・デューカ・アルミ(~919.7死去)
- 915年7月15日-08:00|中国| ||呉・天祐12年6月|晋王は徳州を取った
- 915年8月14日-08:00|中国| ||呉・天祐12年7月|晋王は兗州を取った
- 915年8月14日-08:00|中国| ||後梁・乾化5年7月|晋軍は梁の荊州を攻めたものの、張公橋の戦いで大敗
- 915年8月18日 07:00|日本| 青森県十和田市|延喜15年7月5日|十和田湖湖中より噴火、火砕流が周囲20kmを焼き払い、火山灰が東北地方一帯に積もる

0950迄 (1307件)

- 915年9月-01:00|ドイツ| |||<即位>シュヴァーベン大公「エルンガート」(~9170121死去)
- 915年9月10日-01:00|イタリア| |||<死去>トスカナ辺境伯「アタルベルト2世」
- 915年9月10日-01:00|イタリア| |||<就任>トスカナ辺境伯「グイド」アタルベルト2世の子(~9290203死去)
- 915年9月12日-08:00|中国| ||後梁・乾化5年8月|梁軍がふたたび虢州を取った
- 915年11月10日-09:00|日本| ||延喜15年10月|この月隆平永宝を鑄造
- 915年12月-01:00|イタリア/フランス/ドイツ| |||<即位>フランク・ローマ皇帝「ヘンリク1世」ルウイクス1世の曾孫でイタリア王(~09240407死去)
- 915年12月9日-08:00|中国| ||後梁・貞明1年11月|後梁において朱友貞が貞明(-921年4月)に改元
- 915年12月9日-08:00|中国| ||後梁・貞明1年11月以降|後梁・朱友貞が同母弟の康王朱友敬(または朱友孜とも)が謀反を起こしたために、彼の下に刺客を遣わしてこれを殺害
- 915年12月16日-09:00|日本| ||延喜15年11月8日|<死去>恭子内親王(生年902年/皇族、賀茂斎院)
- 916年-08:00|インドネシア| |||<即位>スダタ王国マハラジャ「Rakeyan Jayagiri Prabu Wanayasa」(~942年)
- 916年-05:30|インド| |||ラシュトラクuta朝がカウチを占領
- 916年-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王「ハテクヌス1世」(~936年)
- 916年-01:00|リヒテンシュタイン/ドイツ| |||リヒテンシュタインはシュヴァーベンの一部(~1030年)
- 916年 00:00|イギリス| |||<死去>グウィネト王「アサウト・アブ・モドリ」
- 916年 00:00|イギリス| |||<即位>グウィネト王「イトワル・ウオイス・アブ・アサウト」(~942年死去)
- 916年2月6日-08:00|中国| ||前蜀・通正1年|前蜀において王建が通正と改元
- 916年2月6日-08:00|中国| ||吳・天祐13年1月|晋王は劉ヅンを大破、梁軍を元城まで追撃し、さらに敗り、劉ヅんはついに黎陽まで逃げ去った
- 916年3月17日-08:00|中国/モンゴル| ||契丹・神冊1年2月11日|<建国>契丹(キタイ)、可汗「太祖耶律阿保機」元号を神冊(~922年1月)と定め、国号を大契丹とする
- 916年4月5日-08:00|中国| ||吳・天祐13年3月|晋王は梁の衛州を囲んで衛州刺史・米昭を投降させ、余勢を駆って磁州を攻め抜き、磁州刺史・牟昭を殺す
- 916年5月5日-08:00|中国| ||吳・天祐13年4月|晋王は洛州を攻め落とす
- 916年5月25日 00:00|アイルランド| |||<死去>アイルランド 上王「フラン・シナ・マック・マイル・セラン」
- 916年5月25日 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド 上王「ニール・ケルト・ウブ・マック・アエダ・フィンリス」(~09190914死去)
- 916年6月10日-09:00|日本| ||延喜16年5月7日|<死去>貞純親王(生年873年/皇族)
- 916年6月29日-09:00|日本| ||延喜16年5月26日|<死去>繁子内親王(生年未詳/皇族、伊勢斎宮)
- 916年8月31日-08:00|中国| ||吳・天祐13年8月|晋王は邢州を包囲して、邢州節度使・閻宝を投降させた/梁の張胤が相州を棄て、戴思遠が滄州を棄てて逃げた/貝州の人々が梁の守将・張源徳を殺し、城をもって降る
- 916年11月28日-08:00|中国/モンゴル| ||契丹・神冊1年11月|契丹、蔚州(河北省蔚県)・武州(河北省宣化県)などを攻める
- 916年12月28日-08:00|中国/モンゴル| ||契丹・神冊1年12月|契丹、軍を還す
- 917年-04:00|ロシア| |||<建国>カザン国
- 917年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<死去>シルヴァン朝国王「Muhammad2世」
- 917年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<即位>シルヴァン朝国王「Abu Tahir Yazid」前王の息子(~948年死去)
- 917年-02:00|ブルガリア/トルコ| |||アケロスの戦いでブルガリア王国がビザンティン軍を大破
- 917年-01:00|スペイン| |||<就任>カスティーリャ伯「Ferdinand」(~同年)
- 917年-01:00|セルビア| |||<即位>セルビア王「ハヴレ」ブラン・ムティロウイッチの息子(~921年)
- 917年-01:00|セルビア| |||<退任>セルビア王「ペタル」シモンの將軍たちに捕らえられ、ブルガリアの刑務所に送致、1年以内に亡くなった
- 917年 00:00|モロッコ| |||<死去>モロッコ国王「ヤフヤー・イブン・イトリス・イブン・ウマル(ヤフヤー4世)」
- 917年 00:00|イギリス| |||<即位>イーストアングリア王「Guthrum」反乱時(~918年死去)
- 917年 00:00|モロッコ| |||<即位>セウラ王国サルタン「Salih3世」(~927年)
- 917年 00:00|マン島/アイルランド| |||マン島はダブリンの北欧王国の領地(~978年)
- 917年1月-03:30|イラン| |||<死去>アラウー朝エミール「ハサン・イブン・アリー」
- 917年1月-03:30|イラン| |||<即位>アラウー朝エミール「(反サーマン朝派)ハサン・イブン・カシム」(~919年)
- 917年1月21日-01:00|ドイツ/スイス| |||<死去>シュヴァーベン大公「エルンガート」
- 917年1月21日-01:00|ドイツ/スイス| |||<即位>シュヴァーベン大公「フルヒャルト2世」フルヒャルディング家(フンフリディング家)、フルヒャルト1世の子(~9260429死去)
- 917年1月26日-09:00|韓国| ||新羅・神徳王6年|<死去>新羅王「神徳王」
- 917年1月26日-09:00|韓国| ||新羅・神徳王6年|<即位>新羅王「景明王」(~924年死去)
- 917年1月26日-08:00|中国| ||前蜀・天漢1年|前蜀において王建が天漢と改元
- 917年3月27日-08:00|中国| ||契丹・神冊2年3月2日|契丹、幽州を攻める
- 917年7月19日-08:00|中国| ||契丹・神冊2年6月28日|契丹、軍を還す
- 917年8月22日 00:00|アイルランド| |||北欧のダブリン支配が復活
- 917年9月5日-08:00|中国/ベトナム| ||南漢・乾亨1年8月16日|<即位>大越皇帝「高祖・劉ヅン」(~大有15年4月24日(942年6月10日)死去)、「乾亨」と建元(-925年)
- 918年-01:00|フランス| |||<就任>アルデンヌ伯「ゴセロ」(~09421019死去)
- 918年-01:00|フランス| |||<就任>トゥールーズ伯「レモン2世」(~924年死去)
- 918年-01:00|ロシア| |||<設立>フェザン・スルタン国

0950迄 (1307件)

- 918年 00:00|イギリス| |||<死去>イーストアングリア王「Guthrum」(反乱時)戦死  
918年 00:00|イギリス| |||<即位>ノルザンブリア王「Rognvaldr」(~921年死去)  
918年1月16日-09:00|日本|奈良県奈良市|延喜17年12月1日|東大寺、講堂、僧坊焼失  
918年1月16日-08:00|中国| ||吳・天祐14年12月|晋軍は楊劉を攻め、晋王自ら攻撃、楊劉を破る  
918年2月14日-08:00|中国| |||<国号改称>「大越」⇒「漢(南漢)」  
918年2月14日-08:00|中国| ||前蜀・光天1年|前蜀において王建が光天と改元  
918年3月7日-08:00|中国| ||契丹・神冊3年1月22日|契丹、雲州(山西省大同市)を攻める  
918年4月3日-08:00|中国| ||契丹・神冊3年2月20日|大契丹、築城し皇都(内モンゴル自治区巴林左旗)とする  
918年5月15日-08:00|中国| ||契丹・神冊3年4月3日|送刺(阿保機の弟)、謀反/阿保機、赦す  
918年7月6日-01:00|フランス| |||<死去>アキテーヌ公・オベールヌイ伯・メコン伯「ギヨーム1世(敬虔公)」  
918年7月6日-01:00|フランス| |||<復位>アキテーヌ公・オベールヌイ伯・メコン伯「ギヨーム2世」(~9261212死去)  
918年7月11日-08:00|中国| ||吳・天祐15年6月|晋軍は黄河を渡って彦章を撃ち、寨四つを陥とす  
918年7月11日-08:00|中国| ||前蜀・光天1年6月1日|<死去>前蜀初代皇帝「高祖(王建)」  
918年7月12日-08:00|中国| ||前蜀・光天1年6月2日|<即位>前蜀第2代皇帝「後主(王衍)」(~925年12月15日)  
918年7月25日-09:00|朝鮮| ||後梁・貞明4年6月15日|<死去>後高句麗王「弓裔」  
918年7月25日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・天授1年6月15日|<即位>高麗王「太祖」建国(~09430704死去)、天授と改元  
918年8月3日-09:00|日本|京都府京都市南区|延喜18年6月24日|落雷により東寺金堂焼亡  
918年9月10日-01:00|フランス/ベルギー| |||<死去>フランドル伯・サンホル伯「ボードヴァン2世禿頭伯」  
918年9月10日-01:00|フランス| |||<就任>サンホル伯「アタロルフ」(~933年死去)  
918年9月10日-01:00|フランス/ベルギー| |||<就任>フランドル伯「アルヌール1世(大伯)」Baldwin2世の息子(~9640327死去)  
918年9月22日-09:00|日本|京都府京都市|延喜18年8月15日|京都で大風、死者多数  
918年9月24日-09:00|日本| ||延喜18年8月17日|近畿地方が暴風雨に見舞われ京都・奈良などで水害発生、淀川氾濫し大洪水、溺死者多数  
918年12月6日-08:00|中国/ベトナム| ||南漢・乾亨2年11月|劉ゲンが国号を漢(南漢)と改めた  
918年12月23日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア| |||<死去>フランク・ローマ帝国国王・東フランク王「コンラート1世若王」  
918年12月23日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア| |||<就任>フランク・ローマ帝国宰相「マイツ大司教ヘリガール」(~09190512)  
919年-08:00|インドネシア| |||<即位>古マタラム王国国王「トウトーン」(~924年)  
919年-04:00|アゼルバイジャン/イラン| |||<即位>サラット朝国王「Muhammad bin Musafir」(~941年)  
919年-03:30|イラン| |||<即位>アラウイー朝エミール(親サーマン朝派)アマト・イブン・ハサン⇒「ジャファール・イブン・ハサン」⇒「(反サーマン朝派)ハサン・イブン・ガム」(~923年)  
919年-03:30|イラン| |||<即位>サブト朝アブシン「Subuk」(~922年)  
919年-03:30|イラン| |||<即位>ジャスタニス朝国王「Ali of Daylam」⇒「Khusrau Firuz」(~同年殺される)⇒「Siyahchah」(~928年殺される)  
919年-01:00|イタリヤ| |||<死去>ネポリス公「ジヨン2世」  
919年-01:00|イタリヤ| |||<即位>ネポリス公「マリナ1世」(~928年死去)  
919年1月5日-08:00|中国| ||吳・天祐15年12月|晋王は臨濮に進軍し梁軍を追いたて、胡柳坡で大戦するも引き分け/梁軍が土山に休息しているところを晋王が襲撃し破った  
919年2月4日-08:00|中国| ||前蜀・乾徳1年|前蜀において王衍が乾徳(-925年)と改元  
919年2月4日-09:00|朝鮮| ||高麗・天授2年1月|高麗が開城を都と定める  
919年5月3日-08:00|中国| ||吳・武義1年4月|吳第3代皇帝「宣王(楊隆演)」、武義と改元(-921年正月)  
919年5月12日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア| |||<即位>フランク・ローマ帝国国王・東フランク王「ハインリヒ1世捕鳥王」(~09360702没)  
919年9月14日 00:00|アイルランド| |||<死去>アイルランド上王「ニール・ゲルトウブ・マック・アエダ・フィンリス」ダブリン付近でヴァイキングに敗れ戦死  
919年9月14日 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド上王「ドンチャド・ドン・マック・フライン」(~944年死去)  
919年12月17日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝(マケドニア朝)「ロマノス1世レカノス」アルメニア人農民の子、帝国海軍の司令長官(ドルガリオス・トーン・プロイモン)、クーデターを起こしてコンスタンティノス7世の母で摂政のゾエ・カポドポリアを追放、娘ヘレネをコンスタンティノスに嫁がせてその義父となり共同皇帝となり、帝国の実権を掌握して正帝として即位(~09441216追放)  
919年12月25日-08:00|中国| ||吳・武義1年12月|晋軍は黄河以南の梁軍を打ち払って一掃  
920年-05:30|インド| |||<即位>パラ朝国王ラージヤハラ(~952年)  
920年-05:30|インド| |||南インドのパンディア朝がチャョラ朝に破れセイロンへ敗走  
920年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| |||<即位>カラハン朝ハン「サトゥク・ボグラーハン」(~955年死去)  
920年-01:00|スペイン| |||<死去>リバゴルサ伯「Raymond1世」  
920年-01:00|スペイン| |||<就任>リバゴルサ伯「Miro」Raymond1世の息子、「Bernard1世Humfred」Raymond1世の息子(~950年)  
920年-01:00|ドイツ| |||<称号>パリエル公「アルルフ」⇒パリエル大公(ドイツ王ハインリヒ1世によって最高位にあたる大公の地位を認められた~9370714死去)  
920年-01:00|セルビア| |||ビザンチン帝国によって送られたブルビスタフの息子ザハリジャをセルビア王「パヴレ」が破る  
920年-01:00|チュニジア| |||ファティマ朝が新都マフディーヤを建設  
920年 00:00|ポルトガル| |||<就任>コインブラ伯「Arias Menendez」(~924年)

0950迄 (1307件)

- 920年 00:00|イギリス| |||<即位>グウェント王「Owain ap Hywel」(~930年死去)  
920年 00:00|イギリス| |||<即位>デハバース王「Hywel Dda ap Cadell」ダウエドとケレディジョンを統合(~950年)  
920年 00:00|モロッコ/エジプト| |||モロッコはファーティマ朝の一部(~925年)  
920年1月6日-02:00|エジプト| |||<再任>アッバース朝エジプト第4代アミール:タキン・アルカサ・アブ・マンスール・タキン・イブン・アブ・ダラ・アルハルビ・アルカザリ(~9210708解任)  
920年1月24日-09:00|韓国/朝鮮| ||後百濟・正開21年|甄萱は、新羅西部の大耶城を攻略  
920年1月25日-08:00|中国| ||契丹・神冊5年1月2日|大契丹で契丹文字の制定  
920年6月17日-08:00|中国| ||呉・武義2年5月28日|<死去>呉第3代皇帝「宣王(楊隆演)」  
920年7月7日-08:00|中国| ||呉・武義2年6月19日|<即位>呉第4代皇帝「睿帝(楊溥)」(~937年11月10日)  
920年7月26日-09:00|日本| ||延喜20年閏6月9日|<死去>宣子内親王(生年902年/皇族、賀茂斎院)  
920年10月28日-08:00|中国| ||契丹・神冊5年9月14日|大契丹で契丹大字を頒かつ  
921年-05:30|インド| |||<即位>東チャルキヤ朝君主「Vijay Aditya4世」(~6ヶ月間)⇒「Amma1世and Vishnuvardhana6世」(~927年)  
921年-01:00|フランス| |||<死去>ブルゴニユ公・トロア伯・オータン伯・オセル伯「リシャール」オータン伯領はブルゴニユ公領に併合された  
921年-01:00|フランス| |||<就任>オセル伯「Raoul1世」(~936年)、「Adelaide2世」(~936年)  
921年-01:00|フランス| |||<就任>トロア伯「Rudolph2世」(~9360114死去)  
921年-01:00|セルビア| |||<即位>セルビア王「ザハリャ」プレヒスラの息子(~924年)  
921年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソカイ王国国王「ビヤイ・ベイ」(~933年)  
921年-01:00|フランス| |||<即位>ブルゴニユ公「ラウル」(~923年)  
921年-01:00|セルビア/ブルガリア| |||<退位>セルビア王「パウレ」ブルガリア軍によって派遣されたザハリャに敗れる  
921年 00:00|イギリス| |||<死去>ノザンブリア王「Rognvaldr」  
921年 00:00|イギリス| |||<即位>ノザンブリア王「Sigtryggr」(~927年死去)  
921年 00:00|モロッコ| |||イトリス朝の首都フェスがファーティマ朝軍によって占領  
921年2月7日-09:00|日本| ||延喜20年12月27日|醍醐天皇の皇子・高明親王が臣籍に下り源姓を賜る/「醍醐源氏」の始り  
921年2月13日-01:00|チェコ| |||<死去>ホヘミア公「ウラチスラフ1世」  
921年2月13日-01:00|チェコ| |||<即位>ホヘミア公「ウァツラフ1世」(~9350928暗殺される)  
921年3月7日-09:00|日本| ||延喜21年1月25日|勘解由使が内外官交替式(延喜交替式)を奏進  
921年3月13日-08:00|中国| ||呉・順義1年2月|呉において楊溥が順義(-927年10月)と改元  
921年5月20日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝「クリスター・レカノス」(931.8死去)「コンスタンチン・レカノス」と共同統治  
921年6月-02:00|ブルガリア/イラク| |||カリフ・ムクタイルがブルガリア国王に使者を派遣  
921年6月9日-08:00|中国| ||後梁・龍徳1年;ヒン・龍徳1年;呉越・龍徳1年5月|後梁において朱友貞が龍徳(-923年10月)に改元/ヒン、呉越も  
921年6月9日-08:00|中国| ||契丹・神冊6年5月1日|大契丹、法律を定める  
921年7月8日-02:00|エジプト| |||<就任>アッバース朝エジプト第5代アミール:アブ・ルハサン・ヒラル・イブン・バドル(~923解任)  
921年7月8日-09:00|日本|福岡県福岡市|延喜21年6月|宮崎八幡宮創建  
921年7月8日-09:00|日本| ||延喜21年6月1日|日蝕  
921年9月5日-08:00|中国| ||後梁・龍徳1年8月|趙王・王鎔の旧将符習および閻宝、そして晋将・史建昫らが鎮州に張文礼を攻め、史建昫は趙州を取り張文礼は死んだがその息子・張処瑾は城を硬く閉ざして防戦  
921年11月3日-08:00|中国| ||後梁・龍徳1年10月|梁の戴思遠は徳勝北城を攻めますが、李嗣源が戚城にあってこれを撃退  
921年11月29日-09:00|日本| ||延喜21年10月27日|空海に弘法大師の号を送る  
921年12月5日-09:00|日本|滋賀県大津市|延喜21年11月4日|近江国崇福寺焼亡  
922年-03:30|イラン| |||<復位>サント朝アフシ「Yusuf」(~928年死去)  
922年-02:00|トルコ| |||ヒザンティン帝国で中小自由農民の保護政策を導入  
922年-01:00|スペイン| |||<就任>アラゴン伯「アンドレガト(アンドラゴート)・ガリンド」ガリント・アスナル2世の娘、ナバラ王ガルシア・サンチェス1世と結婚。アラゴン領はナバラ王家(ヒメ家)に継承(~943年)  
922年-01:00|スペイン| |||<就任>カスティーリャ伯「Nuno Fernandez」(~926年)  
922年-01:00|ベルギー/フランス/ドイツ/ルクセンブルグ/オランダ| |||ロタリンギアは東フランク王国へ包含された  
922年 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトゥガル伯「ルジエ・オウ・イマラニス」  
922年 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトゥガル伯「エルメジルト・ゴンサレス」(~950年死去)  
922年 00:00|モロッコ/チュニジア| |||ファーティマ朝モロッコ総督ムサー・イブン・アビー・アル=アフィヤによる統治(~925)  
922年1月1日-08:00|中国| ||契丹・神冊6年12月|契丹は夕州を犯し、そのまま進んで定州をも犯した  
922年1月2日-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア対立王「ブルゴニユ伯ルドルフ2世」ブルグント王、ベルンガリア1世らを破ってイタリア王位を継承(⇒09240407、国王~926年5月)  
922年1月23日-08:00|中国| ||契丹・神冊6年12月23日|大契丹、李存勖と戦い、不利となり軍を引き還す  
922年1月31日-08:00|中国| ||契丹・神冊7年1月|晋王は新城、望都で契丹を破り、幽州に追い立てる  
922年3月2日-08:00|中国/朝鮮| ||契丹・神冊7年2月|契丹、高麗に使を遣わす  
922年3月4日-08:00|中国| ||契丹・神冊7年2月3日|契丹、幽州・薊州(薊県)の地を攻める  
922年3月24日-08:00|中国| ||契丹・天賛1年2月23日|大契丹、耶律阿保機が天賛(-926年)と改元  
922年5月7日-08:00|中国| ||契丹・天賛1年4月8日|大契丹、薊州を陥れる

- 922年6月28日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||後百済・正開23年;延喜22年6月|後百済の甄萱、日本に遣使
- 922年6月30日-01:00|フランス| ||<即位>西フランク王「ロベール1世」ロベール強公の子、ウードの弟(~09230615戦死)
- 922年6月30日-01:00|フランス| ||<廃位>西フランク王「シャルル3世単純王」(~09291007獄死)
- 922年8月25日-08:00|中国| ||後梁・龍徳2年8月|梁軍が晋の衛州を奪う
- 922年10月23日-08:00|中国| ||後梁・龍徳2年10月|晋が鎮州の動乱を平定
- 922年12月13日-09:00|日本| ||延喜22年11月22日|<死去>是忠親王(生年857年、皇族)
- 922年12月17日-08:00|中国| ||契丹・天賛1年11月26日|契丹、薊州の北を攻める
- 923年-07:00|カンボジア| ||<死去>クメール王朝国王「ハルシャヴァルマン1世」
- 923年-07:00|カンボジア| ||<即位>クメール王朝国王「シャナヴァルマン2世」(~928年死去)
- 923年-04:00|シヨージア| ||<死去>イェリア王「アタルナセ4世」
- 923年-04:00|シヨージア| ||<即位>アブハジア王「シヨージ2世」(~957年)
- 923年-04:00|シヨージア| ||<即位>イェリア王「タビテ2世」(~937年)
- 923年-03:30|イラン| ||<即位>アラウイ朝エミール(親サーマン朝派)アフマド・イブン・ハサン⇒「ジャファル・イブン・ハサン」(~925年死去)
- 923年-03:30|イラン/アフガニスタン| ||<即位>サフアル朝第7代アミール「アフマド・イブン・ムハマト」(~9630331死去)
- 923年-03:00|パレールン| ||<即位>カマティヤ君主「Abu-Tahir Al-Jannabi」(~944年死去)
- 923年-02:00|エジプト| ||<就任>アッハース朝エジプト第6代アミール:アブルアッハース・アフマド・イブン・カカラー(~924解任)
- 923年-01:00|スペイン| ||<就任>アル伯「Rotbold1世」(~928年)
- 923年-01:00|フランス| ||<就任>ヴェルダン伯「Otto」(~944年)
- 923年-01:00|フランス| ||<就任>パリ伯「ユーク大公」(~9560616死去)
- 923年-01:00|イタリヤ| ||<即位>スペレート公「ホニフェイス1世」(~928年)
- 923年-01:00|フランス| ||<即位>ブルゴニュ公「ユーク黒公」(~9521217死去)
- 923年-01:00|セルビア/ブルガリア| ||セルビア王「ザハリジャ」がブルガリア軍を破った
- 923年-01:00|イタリヤ| ||ベレンガリオ1世、ロトルフォに負ける
- 923年1月20日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|延喜23年|この年筑前国筥崎宮を造営
- 923年1月20日-08:00|中国/ベトナム| ||南漢・乾亨7年|南漢が交州を攻撃/クック・トゥア・ミヤを捕虜にして殺す
- 923年2月9日-08:00|中国| ||契丹・天賛2年1月21日|大契丹、平州(河北省盧龍県)を陥れる
- 923年4月9日-09:00|日本| ||延喜23年3月21日|<死去>保明親王(生年903年、皇族)菅原道真の崇りと恐れられる
- 923年4月27日-08:00|中国| ||契丹・天賛2年4月9日|契丹、幽州・山西を攻める
- 923年5月13日-08:00|中国| ||後唐・同光1年4月25日|<即位>後唐第1代皇帝「荘宗(李存勗)」(~926年5月15日)建国、同光(-926年4月)に改元
- 923年5月13日-08:00|中国| ||ヒン・同光1年4月25日|ヒン「同光」に改元(-926年4月)
- 923年5月19日-08:00|中国| ||後唐・同光1年閏4月|李嗣源がウ州奪取に成功
- 923年5月29日-09:00|日本| ||延長1年閏4月11日|延喜から延長に改元
- 923年6月15日-01:00|フランス| ||<死去>西フランク王・ボワティエ伯「ロベール1世」パリ北東の「ソワソンの戦い」で、シャルル単純王(シャルル3世)に討たれ戦死
- 923年6月15日-01:00|フランス| ||<廃位>ロランギア王「シャルル単純王」パリ北東の「ソワソンの戦い」でフランク王国国王「ロベール1世」の子ユーク大公らに敗れて捕らわれ、フランス北部の「ペロヌ城」(ソム県)の「塔」に幽閉される/ロランギアは東フランク王国へ包含
- 923年6月17日-08:00|中国| ||後梁・龍徳3年;後唐・同光1年5月|梁軍が後唐の徳勝南城を奪う
- 923年7月1日-08:00|中国| ||契丹・天賛2年5月15日|契丹、軍を還す
- 923年7月13日-01:00|フランス| ||<即位>西フランク王「ラウル」ロベール1世の義子(~09360114死去)
- 923年7月17日-08:00|中国| ||後唐・同光1年;後梁・龍徳3年6月|後唐が梁の王彦章と新墾で戦い、これを撃破
- 923年8月15日-08:00|中国| ||契丹・天賛2年7月|契丹、燕(幽州)・趙(雲州)を攻める
- 923年10月13日-08:00|中国| ||後唐・同光1年;後梁・龍徳3年9月|唐主と李嗣源が遼坊にて梁の王彦章と戦い、これを破って殺す
- 923年11月8日-09:00|日本| ||延長1年9月27日|<死去>平貞文(生年872年、歌人、中古三十六歌仙の一人)
- 923年11月18日-08:00|中国| ||後唐・同光1年;後梁・龍徳3年10月8日|<死去>後梁第3代皇帝「末帝(朱友貞)」後唐軍の攻撃を受け、開封府城内で自害/後梁は滅亡
- 923年12月11日-08:00|中国| ||後唐・同光1年11月|後唐・李存勗がベソ州を回復して宣武軍に改名/さらに永平軍を回復して西都に改める
- 924年-08:00|インドネシア| ||<即位>古マタラム王国国王「ライクワ」(~929年)
- 924年-02:00|エジプト| ||<再任>アッハース朝エジプト第7代アミール:タキン・アルカサ・アブ・マンスール・タキン・イブン・アブ・タラ・アルハルビ・アルカサリ(~09330316死去)
- 924年-01:00|フランス| ||<死去>トゥールーズ伯「レモン2世」
- 924年-01:00|フランス| ||<就任>トゥールーズ伯「レモン3世ポンス」(~950年頃)
- 924年-01:00|イタリヤ| ||<即位>スペレート公「ペテロ」(~928年)
- 924年-01:00|セルビア/ブルガリア| ||<退位>セルビア王「ザハリジャ」はいとこであるチャスラフ・クロニモヴァイチが率いるブルガリア人軍隊との戦いに破れクワチアに逃げた/シメオンはセルビア人の伯爵を集め、チャスラフを扇動する代わりに彼らを逮捕し、捕虜としてブルガリアに送り、セルビアを併合(~927年)
- 924年-01:00|イタリヤ| ||マジヤール人イタリヤ王国の首都パヴィアを攻撃
- 924年 00:00|ポルトガル| ||<就任>コインブラ伯「Gutierre Menendez」(~934年死去)
- 924年 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトゥカレ伯「ムナドナ・デ・イアス」(~950年)

0950迄 (1307件)

- 924年2月8日-09:00|韓国| ||新羅・景明王8年|<死去>新羅王「景明王」  
924年2月8日-09:00|韓国| ||新羅・景明王8年|<即位>新羅王「景哀王」(~927年自殺)  
924年2月8日-09:00|日本|京都府京都市東山区|延長2年|藤原忠平が公家の読経の寺として法性寺を創建  
924年2月8日-09:00|日本| ||契丹・天贊3年1月|契丹、燕の南を攻める  
924年2月8日-08:00|中国| ||後唐・同光2年1月|後唐が宦官制度を復活  
924年4月7日-01:00|イタリア/フランス/ドイツ| ||<死去>フランク・ローマ皇帝・イタリア王・フリウリ辺境伯「ベレンガール1世」謀反のためケローナにて死去  
924年4月7日-01:00|イタリア| ||<就任>フリウリ辺境伯「ベレンガール2世」(~9660804死去)  
924年4月7日-08:00|中国| ||後唐・同光2年3月|この月州で楊立が首魁となって謀反を起こす  
924年4月7日-08:00|中国| ||荊南・順義4年3月|高李興、呉に従属する  
924年4月7日-08:00|中国| ||後唐・同光2年3月|唐主はベトナム州を平定  
924年4月7日-08:00|中国| ||後唐・同光2年3月|タンゴートが後唐に来朝  
924年5月17日-08:00|中国| ||後唐・同光2年4月11日|<退位>岐皇帝「李茂貞」領土を後唐・李存勖に献上し滅亡  
924年6月-01:00|スペイン| ||<死去>レオン国王・ガリシア国王「オルドネヨ2世」  
924年6月-01:00|スペイン| ||<即位>レオン国王・ガリシア国王「フルエラ2世」アストゥリアス王(~925.7死去)  
924年6月1日-09:00|日本|京都府京都市|延長2年4月26日|東宮町西辺より失火、民家90余家焼亡  
924年6月5日-08:00|中国| ||後唐・同光2年5月|後唐が李嗣源をもって州を平定させた  
924年7月3日-09:00|日本| ||延長2年5月29日|<死去>大江千古(生年866年、公家、歌人)  
924年7月5日-08:00|中国| ||後唐・同光2年6月|唐主はウイグル王仁美を英義可汗に封じた  
924年7月17日 00:00|イギリス| ||<死去>アングロサクソン王「エドワード長兄王」約50歳  
924年7月17日 00:00|イギリス| ||<即位>アングロサクソン王「エルフヴェルト」(~8.2死去)  
924年8月2日 00:00|イギリス| ||<死去>アングロサクソン王「エルフヴェルト」  
924年8月3日 00:00|イギリス| ||<即位>アングロサクソン王「アベルスタン」(⇒09270712イギリス王~09391027死去)  
924年10月31日-08:00|中国| ||呉越・宝大1年10月|呉越王・錢鏐は後唐からも呉越国王に封じられた/改元して「宝大」とした(-925年)  
924年12月25日-02:00|トルコ| ||<即位>東ローマ帝国皇帝「ステファン・レカウス」「コンスタンチン・レカウス」(~09450126)「コンスタンチン・レカウス」「クリストファー・レカウス」と共同統治  
925年-05:30|インド| ||<即位>チャンドラ朝国王「ヤショーヴァルマン」(~950年)  
925年-03:30|イラン| ||<死去>アラブ・イ朝エミール「ジャファル・イブン・ハサン」  
925年-03:30|イラン| ||<即位>アラブ・イ朝エミール「ムハンマド・イブン・アフラク」(~927年)  
925年-02:00|ギリシャ| ||<就任>イクリティヤ(クフ島)首長「アフラク・ブン・ウマル」(~940年)  
925年-01:00|フランス| ||<就任>東フランク王国ロタリク「ア大公ギゼルハルト[レニエ家」(~09391002死去)  
925年-01:00|アラブ| ||<称号>ダルマティア・クロアチア公「トミスラフ」⇒クロアチア王「トミスラフ1世」(~928年死去)  
925年-01:00|フランス| ||<即位>ノルマンディー公(ノルマンディー家)ギヨーム1世「長剣公」(~942年)  
925年-01:00|フランス/ドイツ| ||ロートリンゲン(仏でロレーヌ)がドイツ王国に帰属  
925年 00:00|モロッコ| ||<即位>モロッコ国王「ファティマ朝アルハサン・アルハッジ・ヤーム・イブン・ムハンマド・イブン・アルカースィム(ハサン1世)」(~927年)  
925年1月27日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||後百済・正開26年;後唐・同光3年|後百済の甄萱、後唐に遣使  
925年1月27日-08:00|中国| ||前蜀・咸康1年|前蜀において王衍が咸康と改元  
925年3月9日-08:00|中国| ||契丹・天贊4年2月12日|契丹、燕・趙を攻める  
925年3月27日-08:00|中国| ||後唐・同光3年3月|唐主は東京をギョウ都、洛陽を東都と改める  
925年5月25日-08:00|中国| ||後唐・同光3年5月|黒水と女真から使者が派遣されてきたので、これを迎接  
925年6月23日-09:00|日本|京都府京都市|延長3年5月30日|太政官、盗賊横行に対し京都市中の辻々に「道守屋」設置命じる(交番の発祥)  
925年7月-01:00|スペイン| ||<死去>レオン国王・ガリシア国王・アストゥリアス王「フルエラ2世」  
925年7月-01:00|スペイン| ||<即位>ガリシア王「アルフォンソ・フロイス」(~925.12死去)  
925年7月-01:00|スペイン| ||<即位>レオン国王「アルフォンソ4世」(⇒09290816兼ガリシア王~931年退位~933年死去)  
925年7月12日-09:00|日本| ||延長3年6月19日|<死去>慶頼王(生年921年、日本の皇族)  
925年9月21日-08:00|中国| ||後唐・同光3年9月|魏王・李繼岌を四川四面行營都統、郭崇韜を招討使とし、蜀地を伐たせる  
925年9月23日-08:00|中国| ||契丹・天贊4年9月3日|契丹、軍を還す  
925年10月20日-08:00|中国| ||後唐・同光3年10月|奚、吐渾、突厥諸部から朝賀の使者が来朝  
925年11月19日-08:00|中国/朝鮮| ||高麗・天授8年;後唐・同光3年11月|高麗よりの使者が来朝  
925年12月-01:00|スペイン| ||<死去>ガリシア王「アルフォンソ・フロイス」  
925年12月-01:00|スペイン| ||<即位>ガリシア王「サンチョ1世オルドネス」(~9290816死去)  
925年12月11日-01:00|スペイン| ||<死去>パンプローナ王・ナバラ王「サンチョ・ガルス1世」  
925年12月11日-01:00|スペイン| ||<即位>ナバラ王・パンプローナ王「ヒメノ・ガルス」ガリシア・ヒメヌとDadildis de Pallarsの男子(~9310529死去)  
925年12月15日-08:00|中国| ||後唐・同光3年;前蜀・乾徳7年11月27日|<死去>前蜀第2代皇帝「後主(王衍)」後唐の李存勖によって攻撃を受け、成都是陥落、後唐に降り前蜀は滅亡/長安に送られる途中、後唐の明宗により秦川驛で一族と共に殺害された  
925年12月19日-08:00|中国/ベトナム| ||南漢・白龍1年12月|南漢・劉愷が「白龍」と改元(-928年)

0950迄 (1307件)

- 925年12月30日-08:00|中国| |||<死亡>ビョン王「太祖昭武孝皇帝・王審知」  
925年12月30日-08:00|中国| |||<即位>ビョン王「嗣王・王延翰」(~天成元年12月8日(927年1月14日)死去)  
926年-01:00|フランス| |||<就任>ガアロ7伯・ウエクサン伯「Ralph2世」(~943年)  
926年-01:00|スペイン| |||<就任>カステイリャ伯「Ferdinand Ansures」(~929年)  
926年-01:00|スペイン| |||<即位>ガリシア王「サンチヨ1世オルト・ニェス」(~929年)  
926年 00:00|モロッコ| |||<即位>ファーティマ朝がイトリス朝を滅ぼし、マグリブを統一  
926年1月3日-08:00|中国/朝鮮| |||契丹・天賛4年12月16日|遼が渤海を攻撃→渤海人が多量に高麗へ亡命  
926年2月15日-08:00|中国| |||呉越・宝正1年|呉越において錢鏐が宝正(-932年)と改元  
926年2月15日-08:00|中国| |||後唐・同光4年1月|契丹より梅老鞋里なる使者が来朝/沙州の曹義金が使者を遣わして来朝/またウグルの阿咄欲も使者を派遣して来朝  
926年2月25日-09:00|日本| |||延長4年1月11日|<死亡>菅原淳茂(生年878年/貴族、漢詩人、学者)  
926年3月6日-08:00|中国| |||契丹・天賛5年;渤海・文徳20年1月20日|<退位>渤海国王「大イケン」上京龍泉府が陥落し投降した事で渤海は滅亡  
926年3月17日-08:00|中国| |||後唐・同光4年2月|ギョウ都の軍将・趙在礼が貝州で叛乱を起こしギョウ都を攻め陥とし成徳軍節度使・李嗣源が在礼討伐に成功/刑州で趙太が叛乱を起こし、唐主は東北面招討使・李紹真を討伐に向かわせる  
926年3月21日-08:00|中国| |||契丹・天顯1年2月5日|大契丹・耶律阿保機による西方経略が完成,天顯(-938年)と改元  
926年4月4日-08:00|中国| |||契丹・天顯1年;東丹・甘露1年2月19日|大契丹、渤海国を改めて東丹国、忽汗城(渤海・上京龍泉府/黒龍江省寧安県)を天福とし、函欲(阿保機の長子/義宗)を東丹国主とし甘露(-936年)と建元  
926年4月15日-08:00|中国| |||後唐・同光4年3月|趙太も誅殺されたが、嗣源が叛きベソ州を抜いて萬勝から京師に攻め入る/馬直指揮使・郭從謙も唐主に叛乱  
926年4月29日-01:00|ドイツ/スイス| |||<死亡>シュヴァーベン大公「ブルヒャルト2世」  
926年4月29日-01:00|ドイツ/スイス| |||<即位>シュヴァーベン大公「ヘルマン1世」コンラド・イン家の、ブルヒャルト2世の寡婦レグリンダと結婚(~9491210死去)  
926年5月-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア国王代行「テウダルト」(~7.9)  
926年5月14日-08:00|中国| |||契丹・天顯1年3月29日|契丹、軍を還す  
926年5月15日-08:00|中国| |||後唐・天成1年4月1日|<死亡>後唐第1代皇帝「莊宗(李存勗)」流れ矢に当たって崩じる/享年41歳  
926年5月15日-08:00|中国| |||後唐・天成1年4月1日|<即位>後唐第2代皇帝「明宗(李嗣源)」(~933年12月15日)「天成」に改元(-930年2月)都を開封に定めた  
926年7月9日-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア国王「ブルゴ・ニユ王ヒュゴ」(~09470410没)  
926年9月6日-08:00|中国| |||契丹・天顯1年7月27日|<死亡>契丹可汗「太祖耶律阿保機」扶余城で/年55  
926年9月6日-08:00|中国| |||契丹・天顯1年7月27日|<摂政>契丹・淳欽皇后述律平(~927年11月)  
926年9月10日-08:00|中国| |||後唐・天成1年8月|<死亡>大長和第2代皇帝「肅文太上皇帝(鄭仁旻)」  
926年9月10日-08:00|中国| |||後唐・天成1年8月|<即位>大長和第3代皇帝「恭惠皇帝(鄭隆宣)」(~927年)  
926年11月-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「ウゴ・デ・アルル」ロタリオ1世の外曾孫、ロドルフォ2世からイタリア王位を奪う(~9470410死去)  
926年11月8日-09:00|韓国/朝鮮| |||後百濟・正開27年10月|後百濟は、金州を占領し、新羅の景哀王を自殺させた/王建は、新羅の救援に赴いたが大敗  
926年11月8日-08:00|中国| |||ビョン・天成1年10月|ビョン王「嗣王・王延翰」は大ビョン国王を自称(嗣王)し天子の制をもって開国  
926年12月12日-01:00|フランス| |||<死亡>アキテーヌ公・オーベルニュ伯・メコン伯「ギヨム2世」  
926年12月12日-01:00|フランス| |||<就任>アキテーヌ公・オーベルニュ伯・メコン伯「Acfred」(~927年死去)  
927年-05:30|インド| |||<即位>東チャルキヤ朝君主「Vijayaditya5世」(~15日間)⇒「Tadapa」(~1ヶ月間)⇒「Vikramaditya2世」(~928年)  
927年-05:30|インド| |||<即位>ハラ朝国王「ラジヤハラ」(~959年)  
927年-03:30|イラン| |||<即位>アラウイ朝エミール「ハサン・イブン・アフマド」⇒「(反サーマン朝派)ハサン・イブン・カシム」(~928年)  
927年-03:30|イラン| |||この年、ダイルム(カスピ海西南の山岳地方)の軍事指導者マルターウィーシュがスィヤール朝(~1090頃)を建国  
927年-01:00|フランス| |||<死亡>アキテーヌ公「アクフレ」  
927年-01:00|フランス| |||<死亡>アキテーヌ公・オーベルニュ伯・メコン伯「Acfred」  
927年-01:00|スペイン| |||<死亡>ヘッサル伯「Miro1世」  
927年-01:00|フランス| |||<就任>オーベルニュ伯「Ebalus Manzer」(~934年)  
927年-01:00|フランス/スペイン| |||<就任>コンフラン伯・サルダニャ伯「Sunifred2世」ウジエイ伯(~968年死去)  
927年-01:00|スペイン| |||<就任>ヘッサル伯摂政「Ava」(~941年)  
927年-01:00|スペイン| |||<就任>ヘッサル伯「Wilfred2世」(~957年死去)  
927年-01:00|セルビア/ブルガリア| |||<即位>セルビア王「チャスラフ」(~960年)ブルガリアから戻ってきて、部族を解放し、セルビア統一  
927年-01:00|フランス| |||<即位>ノルマンディー公「ギヨム1世長剣公」(~9421217死去)  
927年 00:00|アイスランド| |||<死亡>ノーザンフリア王「Sigtryggr」

0950迄 (1307件)

- 927年 00:00|イギリス| |||<称号>アングロ・サクソン王「アゼルスタン」⇒イングランド王 (~9391027死去)
- 927年 00:00|モロッコ| |||<即位>ネール王国スルタン「Abd al-Badi」 (~929年)
- 927年 00:00|イギリス| |||<即位>ノーザンブリア王「Gofraid ua Imair」⇒「Athelstan」 (~09391027死去)
- 927年 00:00|イギリス| |||イギリスがノーザンブリアを統治 (~939. 11)
- 927年 00:00|モロッコ/エジプト| |||モロッコはファーティマ朝の一部 (~937年)
- 927年1月14日-08:00|中国| |||ヒン・天成1年12月8日|<死去>大ビン国王「嗣王・王延翰」/王延鈞が王審知の養子である王延稟と協力して政変を起こし殺害
- 927年1月14日-08:00|中国| |||ヒン・天成1年12月8日|<即位>ビン王「惠宗齊肅明孝皇帝・王延鈞」 (~永和元年10月19日 (935年11月17日) 死去)
- 927年2月5日-09:00|韓国| |||新羅・景哀王4年|<即位>後沙伐「朴彦昌」 (~929年病死)
- 927年2月5日-09:00|日本|福島県いわき市|延長5年|温泉神社創建
- 927年2月5日-08:00|中国| |||大長和・天応1年|大長和・鄭隆宣が天応 (-928) と改元
- 927年5月13日-09:00|日本|京都府京都市|延長5年4月10日|山崎橋壊れる
- 927年5月27日-02:00|ブルガリア| |||<死去>ブルガリア帝国皇帝「シモン1世」63歳
- 927年5月27日-02:00|ブルガリア| |||<即位>ブルガリア帝国皇帝「ピョートル1世」 (~969年9月、退位 ~09700130死去)
- 927年10月8日-09:00|日本| |||延長5年9月10日|<死去>真寂法親王 (生年886年、法親王)
- 927年11月27日-09:00|韓国| |||新羅・景哀王4年11月|<死去>新羅王「景哀王」後百済の甄萱に奇襲を受け殺される
- 927年11月27日-09:00|韓国| |||新羅・景哀王4年11月|<即位>新羅王「敬順王」 (~09351201高麗に降伏)
- 927年11月27日-08:00|中国| |||呉・乾貞1年11月|呉・楊溥が皇帝に即位 (睿宗、乾貞 (-929年10月) と改元
- 927年12月11日-08:00|中国| |||契丹・天顯2年11月15日|<即位>契丹 (キタイ) 可汗「太宗耶律徳光 (耶律堯骨)」阿保機の次子 (~大同元年4月22日 (947年5月15日))
- 928年-07:00|カンボジア| |||<死去>クメール王朝国王「イシャナヴァルマン2世」
- 928年-07:00|カンボジア| |||<即位>クメール王朝国王「ジヤヤヴァルマン4世 (チェイヴァルマン4世)」 (~941年死去)
- 928年-05:30|インド| |||<即位>東チャルキヤ朝君主「Chalukya Bhima2世」 (~929年)
- 928年-03:30|イラン| |||<死去>サッド朝アッシン「Yusuf」
- 928年-03:30|イラン| |||<死去>シヤスタニス朝国王「Siyahchashm」殺される
- 928年-03:30|イラン| |||<即位>サッド朝アッシン「Fath b. Muhammad b. Abi 'l-Saj」 (~929年死去)
- 928年-03:30|イラン| |||<即位>シヤスタニス朝国王「Justan4世」 (~947年)
- 928年-01:00|クロアチア| |||<死去>クロアチア王「トミスラフ1世」
- 928年-01:00|イタリア| |||<死去>ネポリス公「マリクス1世」
- 928年-01:00|スウェーデン| |||<即位>アルル伯「Rotbold2世」 (~948年)
- 928年-01:00|フランス| |||<即位>アキテーヌ公「エブルマンセ (庶子公)」 (~932年)
- 928年-01:00|クロアチア| |||<即位>クロアチア王「トルビミール2世」 (~935年、死去)
- 928年-01:00|イタリア| |||<即位>スプレート公「セオバルト1世」 (~936年死去)
- 928年-01:00|イタリア| |||<即位>ネポリス公「シモン3世」 (~968年死去)
- 928年 00:00|イスラント| |||<即位>イスラント連邦共和国政府 (アルシグ) 法話者「ウルフヨウケル・トラッソ」 (~930年)
- 928年-08:00|中国| |||<滅亡>鄭買嗣の大長和
- 928年1月-01:00|スウェーデン| |||アンガルスでハウスが後ウマイヤ朝軍に降伏
- 928年1月21日-09:00|日本| |||延長5年12月26日|「養老律令」の律・令・格の施行細則を集大成した法典「延喜式」が藤原忠平ほか4人により奏進 (40年間は日の目を見ず)
- 928年1月26日-09:00|日本| |||延長6年|この年諸国の風土記成る
- 928年1月26日-08:00|中国| |||大天興・尊聖1年|<即位>大天興 (興源国) 皇帝「悼康皇帝 (趙善政)」尊聖 (-929年) と改元
- 928年1月26日-08:00|中国/ベトナム| |||南漢・大有1年|南漢・劉ケンが「大有」と改元 (-942年)
- 928年4月6日-09:00|日本|京都府京都市|延長6年3月13日|檀林寺焼亡
- 928年4月12日-08:00|中国| |||後唐・天成3年; 契丹・天顯3年3月19日|定州節度使太原郡王の王都が契丹に通じ後唐朝に謀叛
- 928年5月28日-01:00|バチカン| |||<死去>第122代ローマ教皇「ヨハネ10世」
- 928年5月28日-01:00|バチカン| |||<即位>第123代ローマ教皇「レオ6世」 (~928. 12死去)
- 928年6月5日-01:00|イタリア| |||<死去>元フランク・ローマ皇帝 (カロリング朝)、イタリア王「ルトウイクス3世盲目王 (プロヴァンス王ルイ3世)」
- 928年6月5日-01:00|フランス| |||<死去>キヌア・ブルグント王 (プロヴァンス王) 「ルイ3世盲目王」
- 928年6月5日-01:00|フランス| |||<即位>キヌア・ブルグント王 (プロヴァンス王) 「ウゴ」 (~933年、ユーラブルグント王国に侵攻されキヌアブルグント王国滅亡、プロヴァンス王位廃止)
- 928年6月20日-08:00|中国/ベトナム| |||荆南・乾貞2年6月|荆南節度使・南平王の高季興は呉の正朔を奉じたため元号が呉のものになる
- 928年7月28日-08:00|中国| |||後唐・天成3年7月9日|唐、定州を破る
- 928年12月-01:00|バチカン| |||<死去>第123代ローマ教皇「レオ6世」
- 929年-08:00|中国| |||<即位>大義寧初代皇帝「肅恭皇帝 (楊干貞)」 (~930年)
- 929年-08:00|インドネシア| |||<即位>ケイリ王国国王「シントク」ジャワのマタム国が東部へ遷都 (~947年)
- 929年-05:30|インド| |||<死去>ラシュトラクータ朝国王「イントラ3世」

0950迄 (1307件)

- 929年-05:30|インド| |||<即位>東チャールヤ朝君主「Yuddha Mallā2世」(~935年)
- 929年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Kassapa5世」Kassapa4世の息子(~939年)
- 929年-05:30|インド| |||<即位>ラーシュトラクータ朝国王「アモガヴァルシヤ2世」(~930年暗殺される)
- 929年-04:00|アルメニア| |||<死去>ハゲラトゥ朝アルメニア王「アショト2世」
- 929年-04:00|アルメニア| |||<即位>ハゲラトゥ朝アルメニア王「アハス1世」(~953年、死去)
- 929年-03:30|イラン| |||<死去>サジド朝アフシ「Fath b. Muhammad b. Abi 'l-Saj」
- 929年-01:00|ドイツ| |||クヴェトリンブルクの家法で王位継承規則を定め、不分割を決定
- 929年 00:00|モロッコ/スペイン| |||タンジールはコルトバのカリフの一部(~1014年)
- 929年 00:00|モロッコ/スペイン| |||モロッコ北部はコルトバカリフ支配下(~1014年)
- 929年1月-01:00|ジブラルタル/スペイン| |||ジブラルタルはコルトバの後ウマイヤ朝の一部
- 929年1月13日-08:00|中国| ||契丹・天顯3年;後唐・天成3年11月30日|契丹、唐を攻める
- 929年1月14日-09:00|日本| ||延長6年12月1日|<死去>藤原忠房(生年生年未詳/公家、歌人、中古三十六歌仙の一人)
- 929年1月16日-01:00|スペイン| |||<改称>後ウマイヤ朝第8代アミール「アブド・アッラフマン3世」⇒初代カリフ(~09611015死去)/イスラム世界に3人のカリフが鼎立
- 929年1月26日-08:00|中国| ||契丹・天顯3年;後唐・天成3年12月13日|唐の使、契丹に至り契丹、軍を還す/契丹、東丹の民を東平郡(遼寧省遼陽市)に遷し、東平郡を南京とする
- 929年1月28日-08:00|中国| ||荆南・乾貞2年12月15日|<死去>荆南初代皇帝「武信王(高季興)」/享年71
- 929年1月28日-08:00|中国| ||荆南・乾貞2年12月15日|<即位>荆南第2代皇帝「文献王(高從誨)」(~948年12月1日)
- 929年2月3日-01:00|イタリヤ| |||<死去>トスカナ辺境伯「グアイド」
- 929年2月3日-01:00|パチカン| |||<就任>第124代ローマ教皇「ステファヌス8世」(~09310315死去)
- 929年2月3日-01:00|イタリヤ| |||<就任>トスカナ辺境伯「ランベルト」アタルベルト2世の子(~931年イタリヤ王ウゴにより廃位)
- 929年2月13日-09:00|韓国| ||新羅・敬順王3年|<死去>後沙伐「朴彦昌」病死
- 929年2月28日-03:00|イラク| |||<退位>バグダート・アッバース朝第18代カリフ「ムクタイル」
- 929年3月1日-03:00|イラク| |||<即位>バグダート・アッバース朝カリフ「カーヒル」(~3.2退位)
- 929年3月2日-03:00|イラク| |||<退位>バグダート・アッバース朝カリフ「カーヒル」
- 929年3月2日-03:00|イラク| |||<復位>バグダート・アッバース朝第18代カリフ「ムクタイル」(~09321031死去)
- 929年3月14日-08:00|中国| ||後唐・天成4年2月|定州の乱が平定される
- 929年6月1日-09:00|日本| ||延長7年4月21日|<死去>貞辰親王(生年874年、皇族)
- 929年8月16日-01:00|スペイン| |||<死去>ガルシア王「サンチヨ1世オルトニェス」
- 929年8月16日-01:00|スペイン| |||<即位>ガルシア王「アルフォンソ4世」レオン国王(~931年退位)レオン王国へ統合~933年死去)
- 929年10月7日-01:00|フランス| |||<死去>元西フランク国王シャルル3世単純王/50歳(誕生:08790917)幽閉されていたフランス北部の「ヘロンヌ城」(ソム県)で獄死
- 929年11月26日-09:00|日本| ||延長7年10月23日|<死去>雅明親王(生年920年、皇族)
- 929年12月2日-08:00|中国| ||契丹・天顯4年10月29日|契丹、雲州あたりの、まだしたがっていない郡県を攻める
- 929年12月4日-08:00|中国| ||呉・大和1年11月|呉において楊溥が大和(-935年8月)と改元
- 930年-05:30|インド| |||<死去>ラーシュトラクータ朝国王「アモガヴァルシヤ2世」暗殺される
- 930年-05:30|インド| |||<即位>ラーシュトラクータ朝国王「ゴウインダ4世」(~935年)
- 930年-03:30|イラン| |||<死去>パハント朝太守「Sharwin2世」
- 930年-03:30|イラン| |||<即位>スィヤル朝初代国王「マルダウイシュ・ブンスィヤル」(~935.1死去)
- 930年-03:30|イラン| |||<即位>パハント朝太守「Shahrīyar2世」(~964年廃位)
- 930年-01:00|フランス| |||<就任>ピゴール伯「Raymond1世Donatus」
- 930年-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー王「エリック1世血斧王」(~935年)
- 930年 00:00|イギリス| |||<死去>グウェント王「Owain ap Hywel」
- 930年 00:00|イギリス| |||<死去>グレイウイニング王「Owain ap Hywel」
- 930年 00:00|イギリス| |||<即位>グウェント王「CadeII ap Arthfael」(~940年)
- 930年 00:00|イギリス| |||<即位>グレイウイニング王「Gruffydd ab Owain」(~935年死去)、「Cadwgan ab Owain」(~951年死去)
- 930年 00:00|モロッコ| |||<即位>ネール王国スルタン「Abu Ayyub Isma' il」(~935年)
- 930年1月-03:00|サウジアラビア| |||カルマ特派がメッカを略奪し、カーバ神殿の黒石とキワを奪う
- 930年2月2日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・天授21年;後百済・正開31年|高麗は反撃に転じ、古昌郡において後百済を大敗させた
- 930年2月2日-08:00|中国| ||後唐・天成5年|<即位>後渤海大光顯(~934.7高麗に亡命)
- 930年2月2日-08:00|中国| ||大義寧・興聖1年|<即位>大義寧第2代皇帝「楊詔(楊明)」(~937年)
- 930年2月2日-08:00|中国| ||大義寧・興聖1年|大義寧の楊干真が興聖と改元(-936)
- 930年2月14日-09:00|日本| ||延長8年1月13日|<死去>敦子内親王(生年生年未詳、皇族)
- 930年3月3日-08:00|中国| ||後唐・長興1年;ヒン・長興1年;楚・長興1年;荆南・長興1年2月|後唐において、明宗李嗣源が長興(-933年12月)に改元/荆南・ヒン・楚も改元
- 930年6月11日 00:00|アイスランド| |||<就任>アイスランド連邦共和国政府(アルシグ)法話者「フワフン・ケイルソフ・ヘソソ」(~949年)
- 930年6月11日 00:00|アイスランド| |||アイスランド連邦共和国政府(アルシグ)導入
- 930年7月24日 04:00|日本|京都府京都市|延長8年6月26日|<清涼殿落雷惨事>午三刻(13時ごろ)京都北郊の愛宕山あたりから京全体に黒雲がたれ込め激しい雷雨/清涼殿の坤(南西)角の屋根に雷が落ち火災となった/殿上

の間にいた大納言民部卿(財務相)藤原清貫は衣焼き胸裂かれて即死、内蔵頭(皇室経済担当長官)平希世は顔面を焼かれて重傷を負いまもなく死亡、さらに警備兵も含め5人が死亡(京の人びとは落雷は道真の怨霊のしわざと噂した)

- 930年10月16日-09:00|日本| ||延長8年9月22日|<就任>摂政:藤原忠平  
 930年10月16日-09:00|日本| ||延長8年9月22日|<退位>第60代「醍醐天皇」第61代朱雀天皇踐祚  
 930年10月23日-09:00|日本| ||延長8年9月29日|<死去>第60代醍醐天皇/46歳(誕生:元慶9(885)0118)  
 930年11月21日-09:00|日本| ||延長8年10月28日|<即位>第61代「朱雀天皇」(~09460420)  
 930年12月2日-08:00|中国| ||楚・長興1年11月10日|<死去>楚初代皇帝「武穆王(馬殷)」享年79  
 930年12月19日-08:00|中国| ||楚・長興1年11月27日|<即位>楚第2代皇帝「衡陽王(馬希声)」(~932年8月15日)  
 930年12月23日-09:00|朝鮮| ||高麗・天授13年12月|高麗、西京(平壤)に学校を設置  
 931年-04:00|オマン/イラン| ||オマンはカルマティア人により支配(~932年)  
 931年-03:00|イラク| ||アッバース朝カリフ・ムクタイルは開業医を資格制とし、免許取得のための試験を課す  
 931年-01:00|スペイン| ||<就任>カスティール伯「Gutier Nunez」(~同年)⇒「Fernan Gonzalez」(~970年死去)  
 931年-01:00|イタリア| ||<就任>トスカナ辺境伯「ボゾーネ」イタリア王ウゴの弟、ランベルトの異父兄(~936年)  
 931年-01:00|スペイン| ||<即位>レオン国王「ラミロ2世」(~09510101死去)  
 931年-01:00|スペイン| ||<退位>ガルス王(レオン国王)「アルフォンソ4世」レオン王国へ統合(~933年死去)  
 931年-01:00|イタリア| ||<廃位>トスカナ辺境伯「ランベルト」イタリア王ウゴにより  
 931年-01:00|スペイン/フランス| ||<復位>アンブリアス伯「Gausfred1世」(~989年);<就任>ルシヨン伯(~991年死去)  
 931年-01:00|スペイン| ||西ウマイヤ朝のアブド・アッラフマン3世がセウタを占領  
 931年1月22日-08:00|中国| ||大義寧・大明1年|大義寧の楊干真が大明(-937年)と改元  
 931年1月22日-08:00|中国/ベトナム| ||南漢・大有4年|クック・トゥア・ミの將軍、ス・オン・デ・エン・ゲが南漢軍を破り、自ら節度使となる  
 931年3月15日-01:00|バチカン| ||<死去>第124代ローマ教皇「ステファヌス8世」  
 931年3月15日-01:00|バチカン| ||<就任>第125代ローマ教皇「ヨハネス11世」(~935.12死去)  
 931年4月17日-01:00|イタリア| ||<即位>イタリア国王「ロタール2世」(09470410まで共同統治~09501122没)  
 931年5月16日-09:00|日本| ||承平1年4月26日|延長から承平に改元  
 931年5月29日-01:00|スペイン| ||<死去>ナバラ王・パンフロン王「ヒメノ・ガルス」  
 931年5月29日-01:00|スペイン| ||<即位>ナバラ王・パンフロン王「ガルス・サンチェス1世」サンチョ・ガルス1世とトダ・アスナスの男子(~9700222死去/51歳)  
 931年8月-02:00|トルコ| ||<死去>東ローマ帝国皇帝「クリストファー・レカノス」  
 931年9月3日-09:00|日本| ||承平1年7月19日|<死去>宇多法皇/65歳(誕生:貞観9(867)0505)59代天皇  
 931年12月12日-09:00|日本| ||承平1年11月1日|「日蝕」  
 932年-04:00|オマン/イラク| ||オマンはアッバース朝の一部(~933年)  
 932年-01:00|オランダ| ||<死去>エノー伯「レニエ2世」  
 932年-01:00|イタリア| ||<就任>ヴェネツィア共和国第19代ドージェ(元首)「ピエトロ・カンティアーノ2世」(~939年)  
 932年-01:00|フランス| ||<就任>メコン伯「Aubry1世」(~943年死去)  
 932年-01:00|フランス| ||<即位>アキテーヌ公「レモン1世」トウルーズ伯(~936年)  
 932年-01:00|スペイン| ||西ウマイヤ朝のアブド・アッラフマン3世がトレドを制圧  
 932年3月10日-08:00|中国| ||荆南・長興3年2月|後唐から荆南・高從晦が渤海王に封じらる  
 932年5月6日-08:00|中国| ||吳越・長興3年3月28日|<死去>吳越第1代皇帝「太祖武肅王(錢鏐)」  
 932年5月15日-08:00|中国| ||吳越・長興3年4月7日|<即位>吳越第2代皇帝「世宗文穆王(錢元か)」(~941年9月17日)年号も中原朝(後唐など)のものを使用  
 932年6月7日-09:00|日本| ||承平2年5月1日|「日蝕」  
 932年8月15日-08:00|中国| ||楚・長興3年7月11日|<死去>楚第2代皇帝「衡陽王(馬希声)」  
 932年9月6日-09:00|日本| ||承平2年8月4日|<死去>藤原定方(生年873年/公卿、歌人)  
 932年9月14日-08:00|中国| ||楚・長興3年8月12日|<即位>楚第3代皇帝「文昭王(馬希範)」(~947年5月30日)  
 932年10月31日-03:00|イラク| ||<死去>ハゲダート・アッバース朝第18代カリフ「ムクタイル」マムルーク親衛隊に殺害される  
 932年10月31日-03:00|イラク| ||<即位>ハゲダート・アッバース朝第19代カリフ「カヒル」(~09340424捕らえられ牢獄に入れられ失明させられた~09501018死去)  
 933年-04:00|オマン/イラン| ||オマンはカルマティア人により支配(~934年)  
 933年-01:00|フランス| ||<死去>サンボール伯「アダールフ」  
 933年-01:00|フランス| ||<就任>サンボール伯「アルヌル1世」フランドル伯(~962年)  
 933年-01:00|フランス| ||<就任>メヌ伯「ヒュ-2世」(~992年死去)  
 933年-01:00|ノルウェー| ||<即位>グイケン王「Olav Haraldsson」(~935年)  
 933年-01:00|イタリア| ||<即位>カプア公・ベネヴェント大公「アテナル3世カリノーラ」共同統治(~9430410退位)  
 933年-01:00|ニジェール| ||<即位>ソンガイ王国国王「カリ」(~945年)  
 933年-01:00|ノルウェー| ||<即位>トロンデラーゲン王「Halvdan Haraldsson "Svarte"」  
 933年-01:00|フランス/スイス| ||<廃位>キヌエラ・ブルグント王(フロウアン王)「ウゴ」、ユラップルグント王「ルトル2世」に侵攻されキヌエラブルグント王国滅亡、フロウアン王位廃止  
 933年-01:00|モコ/フランス| ||モコはブルゴニユ王国の一部(アレラット)(~10320906)  
 933年 00:00|チャンル諸島/フランス| ||チャンル諸島は、コタン半島(フランス国内)とともにルマンティエ公国の一部  
 933年1月29日-08:00|中国| ||ヒン・龍啓1年1月|ヒン王「惠宗齊肅明孝皇帝・王延鈞」皇帝を自称(惠宗)し、国号を

大ピンと改め、独自元号として龍啓を建元(-934年)、自らも王リ(王リ)と改名

- 933年3月-01:00|トイハンガリー| |||ハインリヒ1世がリアデでハンガリー人に勝利
- 933年3月16日-02:00|エジプト| |||<再任>アッバース朝エジプト第8代アミール:アブルアッバス・アフマド・イブン・カカラー(~935解任)
- 933年3月16日-09:00|日本| |||承平3年2月18日|<死去>藤原兼輔(生年877年/公卿、歌人、三十六歌仙の一人)
- 933年4月2日-08:00|中国/朝鮮| |||高麗・長興4年3月5日|唐、高麗に使を遣わす/これより高麗、唐・年号を行なう
- 933年7月25日-08:00|中国| |||吳越・長興4年7月|吳越・錢元かが後唐より吳王に封じられる
- 933年7月25日-08:00|中国| |||後唐・長興4年7月|孟知祥が蜀王に封じられる
- 933年12月15日-08:00|中国| |||後唐・長興4年11月26日|<死去>後唐第2代皇帝「明宗(李嗣源)」/66歳(誕生:08671010)
- 933年12月20日-08:00|中国| |||後唐・長興4年12月1日|<即位>後唐第3代皇帝「閔帝(李從厚)」(~934年5月19日)
- 934年-05:30|インド| |||<即位>ラシュトラクータ朝国王「アモガヴァルシヤ3世」(~939年)
- 934年-04:30|アフガニスタン/イラン| |||<即位>ブワイフ朝(シバル地方)アミール「イマド・ウッタウラ」ブワイフの長男(~947年)兼(ファールス地方)アミール「イマド・ウッタウラ」(~949.12死去)
- 934年-04:00|オマーン/イラク| |||オマーンはアッバース朝の一部(~967年)
- 934年-03:00|イラク| |||<即位>バグダート・アッバース朝第20代カリフ「ラーディ」(~09401223)
- 934年-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマーム「アルマンサー・ヤーヤ」アルムクター・アルカジムの兄弟(~976年死去)
- 934年-01:00|フランス| |||<死去>カカロニス伯「Acfred2世」
- 934年-01:00|フランス| |||<就任>カカロニス伯「Arsenda」Acfred2世の娘⇒「Arnold」Arsendaの夫(~957年)
- 934年 00:00|ポルトガル| |||<死去>コインブラ伯「Gutierre Menendez」
- 934年 00:00|ポルトガル| |||<就任>コインブラ伯「Munius Gutieriz」(~959年)
- 934年 00:00|イギリス| |||<即位>ストラスカイト王「Owen1世」(~937年死去)
- 934年1月18日-09:00|韓国/朝鮮| |||高麗・應順1年;後百済・正開35年|王建は後百済軍を打ち破り熊津(公州市)以北の地を手中に収めた
- 934年1月18日-08:00|中国| |||後唐・應順1年;楚・應順1年;吳越・應順1年;荊南・應順1年1月|後唐において李從厚が應順(-4月)に改元/楚・荊南・吳越も改元
- 934年2月17日-08:00|中国| |||後蜀・明德1年閏1月|後唐の東川節度使・蜀王である孟知祥は後唐の継承争いに乗じて自立、国号を大蜀とし、自らも皇帝を自称(高祖)、明德と改元(-937年)
- 934年2月17日-08:00|中国| |||後唐・應順1年閏1月|後唐・李從珂は兵を起す
- 934年3月4日-01:00|チュニジア/エジプト| |||<死去>ファーティマ朝初代カリフ「アルマフディーン・ヒラー」
- 934年3月4日-01:00|チュニジア/エジプト| |||<即位>ファーティマ朝第2代カリフ「アルカイム・ヒーン・アムリラー」(~9460517死去)
- 934年3月16日-08:00|中国| |||後蜀・明德1年閏1月28日|<即位>後蜀第1代皇帝「高祖(孟知祥)」(~明德元年7月26日(9月7日))
- 934年4月24日-03:00|イラク| |||<即位>バグダート・アッバース朝第20代カリフ「ラーディ」(~09401212退任~12.23.32歳で病死)
- 934年4月24日-03:00|イラク| |||<廃位>バグダート・アッバース朝第19代カリフ「カヒル」捕らえられ牢獄に入れられ失明させられた(~09501018死去)
- 934年5月19日-08:00|中国| |||<廃位>後唐第3代皇帝「閔帝(李從厚)」内乱に敗北し洛陽を追われる
- 934年5月21日-08:00|中国| |||後唐・清泰1年4月6日|<即位>後唐第4代皇帝「末帝(李從珂)」(~937年1月11日)「清泰」に改元(-936年)
- 934年6月5日-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマーム「アンナジール・アフマド」
- 934年6月5日-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマーム「アルムクタブ・アルハッサン」アンナジール・アフマドの息子(~936年死去)
- 934年8月13日-08:00|中国/朝鮮| |||高麗・清泰1年7月|<退位>後渤海大光顕|数万人を率いて高麗に下る
- 934年9月7日-08:00|中国| |||後蜀・明德1年7月26日|<死去>後蜀第1代皇帝「高祖(孟知祥)」
- 934年9月10日-08:00|中国| |||後蜀・明德1年7月29日|<即位>後蜀第2代皇帝「後主(孟昶)」(~965年2月23日)
- 934年9月25日-08:00|中国| |||契丹・天顯9年;後唐・清泰1年8月14日|契丹、唐を攻める
- 934年11月28日-09:00|日本|奈良県奈良市|承平4年10月19日|東大寺西塔が雷火によって焼失
- 935年-05:30|インド| |||<即位>東チャルキヤ朝君主「Chalukya Bhima3世」(~947年)
- 935年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>ブワイフ朝(シバル地方)アミール「ルクン・ウッタウラ」(~976.9死去)
- 935年-03:00|イラク/シリア・アラブ| |||<即位>ハムダーン朝アミール「ナスイル・アッダウラ」(~967年)
- 935年-01:00|クワチヤ| |||<死去>クワチヤ王「トルミール2世」
- 935年-01:00|フランス| |||<死去>ホワリエ伯「Ebalus」
- 935年-01:00|フランス| |||<就任>ホワリエ伯「William1世」(~9630403死去)
- 935年-01:00|クワチヤ| |||<即位>クワチヤ王「ケシムル1世」(~945年、死去)
- 935年-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー王「ホーコン1世(善王)」(~961年死去)
- 935年 00:00|イギリス| |||<死去>グリュウイシグ王「Gruffydd ab Owain」
- 935年1月-03:30|イラン| |||<死去>スィヤール朝初代国王「マルダウーシュ・ブーン・スィヤール」
- 935年1月-03:30|イラン| |||<即位>スィヤール朝第2代国王「ワシムキール・ブーン・スィヤール」(~967.12死去)
- 935年2月6日-09:00|日本| |||承平5年|源順、分類形式の百科事典兼国語辞書「倭名類聚抄」を編纂
- 935年2月6日-08:00|中国| |||ピンの永和1年|ピンにおいて王継鵬が永和と改元
- 935年3月11日-09:00|日本|茨城県|承平5年2月4日|平将門、常陸国(川曲辺で戦闘)において源扶・源隆らを戦死させ伯父の平国香を自刃させる
- 935年3月23日-09:00|日本| |||承平5年2月16日|紀貫之「土佐日記」を著わす

0950迄 (1307件)

- 935年4月6日-09:00|日本| ||承平5年3月1日|「日蝕」が14分ほど見られ  
935年4月11日-09:00|日本|滋賀県大津市|承平5年3月6日|延暦寺中堂など40余宇焼亡  
935年7月4日-09:00|韓国| ||後百済・正開36年6月|<即位>後百済国王「甄神剣」(~936年滅亡)  
935年7月4日-09:00|韓国| ||後百済・正開36年6月|<廃位>後百済国王「甄萱」長男の神剣が次男の良剣と三男の龍剣と共謀して幽閉したが脱出し高麗に亡命  
935年8月26日-02:00|エジプト| ||<即位>イフシト 朝初代ワリー「ムハンマド・イブン・トゥグ・ジュ」エジプト総督が自立建国(~9460724死去)  
935年9月28日-01:00|チェコ| ||<死去>ホムミア公「ヴァーツラフ1世」弟ホムスラフに暗殺される  
935年9月28日-01:00|チェコ| ||<即位>ホムミア公「ホムスラフ1世」(~9720715死去)  
935年10月1日-08:00|中国| ||呉・天祚1年9月|呉において楊溥が天祚(-937年10月)と改元  
935年11月17日-08:00|中国| ||ヒン・永和1年10月19日|<死去>大ヒン皇帝「惠宗齊肅明孝皇帝・王延鈞」皇城使李倣がを刺し自害  
935年11月18日-08:00|中国| ||ヒン・永和1年10月20日|<即位>大ヒン皇帝「康宗(聖神英睿文明広武応道大弘孝皇帝・王繼鵬)」(~通文4年閏7月12日(939年8月29日))王昶と改名  
935年11月19日-09:00|日本|茨城県|承平5年10月21日|平将門、下総国へ出陣してきた平良正と川曲で交戦、撃破  
935年12月-01:00|パチン| ||<死去>第125代ローマ教皇「ヨハネス11世」  
935年12月1日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・清泰2年・新羅・敬順王9年|<即位>新羅王「敬順王」高麗に降伏、新羅が滅亡  
936年-06:30|ミャンマー| ||<即位>アラカン国王「ホムナカ」(~969年)  
936年-05:30|インド/イラン| ||ゾロアスター教徒がイランからゲジヤートへ移住  
936年-03:00|イェメン| ||<死去>ラッシー朝イマム「アルムクタフ・アルハッサン」  
936年-03:00|イェメン| ||<即位>ラッシー朝イマム「アルムクタフ・アルカジム」アルムクタフ・アルハッサンの兄弟(~956年死去)  
936年-01:00|イタリヤ| ||<死去>スレート公「セハルト1世」  
936年-01:00|イタリヤ| ||<就任>トスカナ辺境伯「ウベルト」イタリヤ王ウゴの庶子(~969年死去)  
936年-01:00|フランス| ||<即位>アキテーヌ公「レモン2世」(~955年)  
936年-01:00|イタリヤ| ||<即位>スレート公「アンスケル」(~940年死去)  
936年-01:00|デンマーク| ||<即位>デンマーク王「ゴーム老王」ハーデクヌース1世の息子(~958年死去)  
936年 00:00|モロッコ| ||<即位>ネール王国スルタン「Musa ibn Rumi」(~940年)  
936年1月3日-01:00|パチン| ||<就任>第126代ローマ教皇「レオ7世」(~09390713死去)  
936年1月14日-01:00|フランス| ||<死去>西フランク王「ラウール」  
936年1月14日-01:00|フランス| ||<死去>ブルゴニュ公・西フランク王「ラウール」兼トワ伯「Rudolph2世」(生年年未詳)  
936年1月14日-01:00|フランス| ||<就任>トワ伯「Hugh」(~952年死去)ブルゴニュ公  
936年1月27日-08:00|中国| ||ヒン・通文1年|ヒンにおいて王繼鵬が通文(-938年)と改元  
936年5月24日-08:00|中国| ||後唐・清泰3年5月|石敬瑭は晋陽で後唐に対する反乱を起こした  
936年6月2日-09:00|日本| ||承平6年5月11日|<死去>齊子内親王(生年921年/皇族、伊勢斎宮)  
936年6月19日-01:00|フランス| ||<即位>西フランク王「ル4世渡海王」シャルル3世の子(~9540910落馬事故のため死去)  
936年6月22日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・清泰3年・後百済・正開37年6月|王建は甄萱と共に後百済を滅ぼし、高麗が後三国を統一  
936年6月22日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|承平6年6月|藤原純友、伊予守紀叔人とともに日振島の海賊を鎮圧  
936年7月2日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリヤ| ||<死去>フランク・ローマ帝国国王・東フランク王「ハインリヒ1世捕鳥王」(誕生876年)  
936年7月2日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリヤ| ||<即位>フランク・ローマ帝国皇帝「マインツ大司教ヒルベルト」(~8.7)  
936年7月18日-09:00|日本| ||承平6年6月27日|平良兼、水守で良正・貞盛と合流、下野國境で将門と合戦するが大敗  
936年8月7日-01:00|ドイツ| ||<即位>東フランク王「オットー2世」ハインリヒ1世の子(09620202からフランク・ローマ帝国皇帝「オットー1世大帝」~9730507死去)  
936年9月27日-09:00|韓国| ||高麗・清泰3年9月9日|<死去>後百済の王「甄萱」(生年867年)  
936年10月-03:00|イラク| ||ワスイト総督イブン・レーイクがイラクの支配権を得る  
936年10月18日-09:00|日本| ||承平6年10月26日|平将門が、伯父の下総介平良兼らを破る  
936年11月28日-08:00|中国| ||後晋・天福1年11月12日|<即位>後晋第1代皇帝「高祖(石敬瑭)」(~942年7月28日)(都は開封)天福(-944年6月)と改元/荆南・楚・呉越も改元  
937年-04:00|ジョージア| ||<即位>イベリア王「スハト1世」(~958年死去)  
937年 00:00|イギリス| ||<死去>ストラスカイト王「Owen1世」  
937年 00:00|イギリス| ||<即位>ストラスカイト王「Domhnall mac Eogain(Dyfnwal3世)」(~973年)  
937年 00:00|モロッコ| ||<即位>モロッコ国王「ファティマ朝アル=カスィム・ガヌーン・イブン・ムハンマド・イブン・アル=カスィム」(~948年死去)  
937年1月11日-08:00|中国| ||後晋・天福1年・後唐・清泰3年閏11月26日|<死去>後唐第4代皇帝「末帝(李從珂)」晋、石敬瑭が遼・援助で後唐を滅ぼす/燕雲十六州を遼に割譲  
937年2月4日-08:00|中国| ||<即位>前大理初代皇帝「太祖神聖文武帝(段思平)」大義寧国の楊干貞の政権を打倒して建国(~944年)  
937年2月14日-09:00|日本| ||承平7年1月2日|日蝕で廢務  
937年5月12日-09:00|日本| ||承平7年3月29日|<死去>代明親王(生年904年、皇族)  
937年5月19日-09:00|日本| ||承平7年4月7日|将門、朱雀天皇元服の大赦により無罪となる

0950迄 (1307件)

937年7月11日-09:00|日本|茨城県下妻市|承平7年6月|平吉兼が平将門を下総国子飼渡に襲って敗走させる  
937年7月12日-01:00|フランス/スイス| |||<死去>ブルグント王「ルドルフ2世」  
937年7月12日-01:00|フランス/スイス| |||<即位>ブルグント王「コラート」(~9931019死去)  
937年7月14日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||<死去>ハインリッヒ大公「アルヌフ(悪公)」  
937年7月14日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||<即位>ハインリッヒ大公「エーバハルト」アルヌフの息子(~938年皇帝オットー1世が中央集権化を再び掲げてエーバハルトを追放)  
937年9月13日-09:00|日本|茨城県下妻市|承平7年8月6日|平良兼らが子飼いの渡りの決戦で平将門を襲撃し大勝  
937年9月24日-09:00|日本|茨城県常総市|承平7年8月17日|将門、大方郷堀越の渡りで良兼と合戦するも脚の病気のため大して戦わず遁走  
937年10月25日-09:00|日本|茨城県桜川市|承平7年9月19日|平将門、良兼の拠点真壁郡服織の宿を焼く/良兼を筑波山へ追撃  
937年10月29日-09:00|日本|茨城県|承平7年9月23日|平将門、弓袋山で良兼と合戦、勝敗決せず  
937年11月10日-08:00|中国| ||南唐・昇元1年10月5日|<即位>南唐1代皇帝「烈祖(李昪)」呉の皇帝楊溥(睿宗)から帝位を禅譲され江寧において(~943年3月30日)「昇元」と改元(-943年2月)/南唐のはじまり/当初国号は斉とされた  
937年11月10日-08:00|中国| ||呉・天祚3年10月5日|<退位>呉第4代皇帝「睿帝(楊溥)」,呉は滅亡  
937年12月18日-09:00|日本| ||承平7年11月13日|富士山噴火、溶岩流が御舟湖を埋めた  
938年-03:30|イラン| |||<即位>ハダス・ニコ朝君主「Shams al-Muluk Muhammad」(~965年)  
938年-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<即位>ハインリッヒ大公「ベルトルト」ルートヴィヒの末子(~99471123死去)  
938年-01:00|フランス| |||<即位>ブルグント公・サント伯「ラン2世狡猾公」ボート・エルバートとラン1世の娘の子(~952年死去33歳)  
938年-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<廃位>ハインリッヒ大公「エーバハルト」皇帝オットー1世が中央集権化を再び掲げて追放  
938年1月17日-09:00|日本| ||承平7年12月14日|平将門、平良兼の夜襲を撃退/平良兼らは離散・敗走  
938年2月2日-08:00|中国| ||南唐・昇元2年|<即位>定安王「烈万華」(~976年)  
938年2月2日-08:00|中国| ||後蜀・広政1年|後蜀において孟昶が広政(-965年)と改元  
938年2月2日-08:00|中国| ||大理・文徳1年|大理国・段思平が文徳と改元(-944)  
938年4月1日-09:00|日本| ||承平8年2月29日|平将門、信濃国小県郡の国分寺付近において上洛途中の平貞盛を追撃するも千曲川周辺で取り逃がす  
938年5月17日-09:00|日本| ||承平8年4月15日|亥刻に京都・紀伊などで大地震。東西の京舎屋、諸寺諸山の堂舎仏像多く倒壊。死者4人  
938年6月15日-09:00|日本|東京都江戸川区|承平8年5月15日|篠崎浅間神社創建(江戸川区で最も古い神社)  
938年6月22日-09:00|日本| ||天慶1年5月22日|承平から天慶に改元  
938年7月19日-09:00|日本|京都府京都市|天慶1年6月20日|<天慶元年京都鴨川の洪水>鴨川が氾濫して京都に洪水が押し寄せ、多くの人や建物などが被災/西堀川(天神川)より西は海のようにになって、人の行き来ができなくなった  
938年7月30日-08:00|中国/ベトナム| ||南漢・大有11年秋|呉権が南漢軍を白藤村で撃破  
938年7月30日-09:00|朝鮮| ||高麗・天福3年7月|高麗、後晋年号(天福3年)を施行  
938年9月-03:00|イラク| |||ムルグ軍人バジュカムがクーデタをおこし、大アミールに就任  
938年10月26日-09:00|日本|滋賀県大津市|天慶1年10月|延暦寺中堂再建  
938年12月17日-08:00|中国| ||契丹・会同1年11月23日|大契丹で会同(-947年)と改元  
938年12月25日-09:00|韓国/朝鮮| ||後蜀・広政1年12月|高麗へ耽羅国の太子来訪  
939年-07:00|ベトナム| |||<即位>呉朝国王「呉権(前呉王)」中国から自立、首都をコアに置く(~乾和2年12月20日(944年1月18日)死去)  
939年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプラ王国国王「Dappula4世」Kassapa5世の息子(~940年)  
939年-05:30|インド| |||<即位>ラシュトラクuta朝国王「クリシュナ3世」(~967年)  
939年-04:00|マーン| |||<即位>マーン(元首)「マム・サイト・ビン・アブダラー」  
939年-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第20代ドージェ(元首)「ピエトロ・パルチザン」(~942年)  
939年-01:00|フランス| |||<就任>サント伯「ティルク2世」(~9880506死去)  
939年1月6日-09:00|日本| ||天慶1年12月13日|空也、京に入り念仏を広める  
939年1月23日-09:00|日本| ||天慶2年|<任命>鎮守府将軍「平良文」(~不詳)  
939年1月23日-09:00|日本|長野県松本市|天慶2年|犬飼半左衛門が浅間温泉を発見  
939年1月23日-08:00|中国| ||南唐・昇元3年|南唐・李昪は昇元格という法律を発し、みだりに死刑をしてはならないということになった  
939年2月22日-08:00|中国| ||南唐・昇元3年2月|齊・徐知誥は自らの姓を李に戻し、自分は唐皇族の李恪の末裔であるとして、国号を唐とした  
939年5月8日-09:00|日本| ||天慶2年4月17日|<天慶の乱>出羽国で俘囚が反乱。秋田城の軍と交戦  
939年7月13日-01:00|パチン| |||<死去>第126代ローマ教皇「レオ7世」  
939年7月14日-01:00|パチン| |||<就任>第127代ローマ教皇「ステファヌ9世」(~9421030死去)  
939年7月19日-09:00|日本| ||天慶2年7月1日|日蝕で廃務  
939年8月29日-08:00|中国| ||ヒン・永隆1年閏7月12日|<死去>大ヒン皇帝「康宗(聖神英睿文明広武応道大弘孝皇帝・王継鵬)」拱宸・控鶴の軍使朱文進・連重軍が王宮内に侵入し囚われの身となり弟である王継業により殺害された

0950迄 (1307件)

- 939年8月30日-08:00|中国| ||ヒン・永隆1年閏7月13日|<即位>大ヒン皇帝「景宗(睿文広武明聖元徳大孝皇帝・王延羲)」(永隆6年3月13日(944年4月8日))、王曦と改名、永隆と改元(-943年)
- 939年10月2日-01:00|ドイツ| ||<死去>フランク大公「エーバールト3世」
- 939年10月2日-01:00|フランス| ||<即位>ロランギア大公「ハインリヒ1世」リウドルフینگ家、のちバイルン公、皇帝オットー1世の弟(940年)
- 939年10月27日 00:00|イギリス| ||<死去>イギリス王「アゼルスタン」約44歳
- 939年10月27日 00:00|イギリス| ||<即位>イギリス王「エドマンド1世」エドワード長兄王とエドギフの男子(9460526殺害された)
- 939年11月 00:00|イギリス| ||<即位>ノザンブリア王「Olaf Guthfrithson」Gofraid ua Imairの息子(941年死去)
- 940年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Dappula5世」Dappula4世の兄弟(952年)
- 940年-03:30|イラン| ||フワイフ朝ハサン(ルカン・アッダウラ、947~976)がイスファーン、レイを占領
- 940年-02:00|ギリシャ| ||<就任>イクリテヤ(クレタ島)首長「シウアイブ2世イブン・アハマト」(943年)
- 940年-01:00|イタリヤ| ||<死去>スレート公「アンスカル」
- 940年-01:00|イタリヤ| ||<死去>ベネチア公「カリアコ」アテナル2世
- 940年-01:00|オランダ| ||<就任>エノー伯「レニ3世」(958年死去)
- 940年-01:00|フランス| ||<就任>オーベルニュ伯「Raymond Pons」トゥールズ伯(941年)
- 940年-01:00|イタリヤ| ||<即位>スレート公「サルジオネ」(943年)
- 940年-01:00|イタリヤ| ||<即位>ベネチア公「ランドルフ」(940年)、「ランドルフ2世」(⇒ランドルフ4世赤王961年死去)
- 940年-01:00|フランス/ドイツ| ||ドイツ王オットー1世がフランスへ侵攻
- 940年 00:00|イギリス| ||<即位>グウェント王「Morgan Hen ab Owain」(955年)
- 940年 00:00|モロッコ| ||<即位>ネール王国スルタン「Abd as-Sami」(947年)
- 940年1月3日-09:00|日本| ||天慶2年11月21日|平将門、平貞盛・藤原為憲(藤原惟幾息)の挑戦を受けて常陸国の国府を襲撃・放火/國主藤原維幾を捕縛、印鑑を奪う
- 940年1月4日-09:00|日本| ||天慶2年11月22日|<死去>源宗于(生年生年未詳/公家、歌人、三十六歌仙の一人)
- 940年1月12日-09:00|日本|兵庫県芦屋市|天慶2年12月|藤原純友は部下の藤原文元に備前介藤原高と播磨介島田惟幹を摂津国須岐駅にて襲撃させた
- 940年1月22日-09:00|日本|栃木県栃木市|天慶2年12月11日|平将門、下野国の国府を襲撃/新司(藤原弘雅)・旧司(大中臣全行)らを降伏させ印鑑を没収
- 940年1月26日-09:00|日本| ||天慶2年12月15日|平将門が下野について上野を陥し、坂東一帯を勢力下に置き、新皇と自称して除目を行う
- 940年1月30日-09:00|日本|群馬県前橋市|天慶2年12月19日|将門は上野國府で即位、新皇と自称/同時に板東諸國司を任命[下野守将頼(将門弟)、上野守多治経明、常陸介藤原玄茂、上野介興世王、安房守文屋好立、相模守(介)将文、伊豆守将武、下総守将為]
- 940年2月6日-09:00|日本| ||天慶2年12月26日|天慶の乱(藤原純友の乱)おこる。瀬戸内の乱
- 940年2月11日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天慶3年|朱雀天皇が三河国渥美郡北端である豊川左岸の安久美(飽海)荘を伊勢神宮へ寄進し安久美神戸神明社創建(愛知県豊橋市)
- 940年2月11日-09:00|日本|千葉県成田市|天慶3年|寛朝僧正、成田山新勝寺創建<真言宗智山派大本山>
- 940年2月11日-08:00|中国| ||南唐・昇元4年|<即位>天山ウイグル王国可汗「Irdimin Khan」(948年)
- 940年2月11日-08:00|中国| ||ヒン・永隆2年|ヒン・王延羲は建州攻撃を開始しヒンでの内戦が発生
- 940年2月29日-09:00|日本|岡山県|天慶3年1月19日|西国の兵船、多数が備中に侵攻、備中軍逃散
- 940年3月12日-09:00|日本|茨城県結城郡八千代町|天慶3年2月1日|平貞盛・藤原秀郷、平将門を下総国豊田郡川口村で撃破
- 940年3月16日-09:00|日本|兵庫県淡路市|天慶3年2月5日|藤原純友は淡路国の兵器庫を襲撃して兵器を奪う
- 940年3月24日-09:00|日本|茨城県古河市|天慶3年2月13日|平将門、平貞盛・藤原秀郷に敗北し広江に遁走
- 940年3月25日-09:00|日本|茨城県坂東市|天慶3年2月14日|<死去>平将門が平貞盛・藤原秀郷と下総国猿島郡北山で決戦し矢に当たり戦死(38歳、延喜3(903)年生)
- 940年3月30日-09:00|日本| ||天慶3年2月19日|<死去>興世王(生年生年未詳、皇族)
- 940年4月6日-09:00|日本|京都府乙訓郡大山崎町|天慶3年2月26日|山城の入り口である山崎が謎の放火によって焼き払われた
- 940年4月11日-09:00|朝鮮| ||後蜀・広政3年3月|高麗、州府郡県の名号を改める
- 940年6月3日-09:00|日本| ||天慶3年4月25日|<任命>鎮守府将軍「藤原秀郷」(~不詳)
- 940年7月8日-09:00|日本| ||天慶3年6月|「将門記」成る
- 940年9月22日-09:00|日本|香川県坂出市|天慶3年8月18日|藤原純友ら南海の海賊、伊予国を奪ったのち、400余艘の船で讃岐国に襲来し、国府を焼く
- 940年11月3日-09:00|日本| ||天慶3年10月|藤原純友が瀬戸内海で大宰府の追捕使を破る
- 940年12月2日-09:00|日本|山口県山口市|天慶3年11月|藤原純友が周防の鑄銭司を襲い焼く
- 940年12月12日-03:00|イタリヤ| ||<退任>バグダート・アッバース朝第20代カリフ「ラティフ」(~12. 23, 32歳で病死)
- 940年12月15日-03:00|イタリヤ| ||<即位>バグダート・アッバース朝第21代カリフ「ムタキ」(~09440826, 捕えられ目を潰されハゲダートに連行され退位~0968. 7死去)
- 940年12月28日-09:00|日本|京都府京都市|天慶3年11月27日|冷泉院西町焼失
- 941年-07:00|カンボジア| ||<死去>クメール王朝国王「ジャヤヴァルマン4世(チェイヴァルマン4世)」
- 941年-07:00|カンボジア| ||<即位>クメール王朝国王「ハルシャヴァルマン2世」(~944年死去)

0950迄 (1307件)

- 941年-04:00|アゼルバィジャン| |||<即位>サリド朝(アゼルバィジャン)国王「Marzuban ibn Muhammad」(~957年死去)
- 941年-04:00|ロシア| |||キエフ公イゴリは大軍を率いてコンスタンティノール遠征したが撃退される
- 941年-03:30|イラン| |||<即位>サリド朝(タィラム)国王「Wahsudan ibn Muhammad」(~967年死去)
- 941年 00:00|アイスランド| |||<死去>ノザンフリア王「Olaf Guthfrithson」
- 941年 00:00|アイスランド| |||<即位>ノザンフリア王「Olafur kvaran Sigtryggsson」(~944年)
- 941年1月19日-09:00|日本|高知県|天慶3年12月19日|土佐国の官兵、八多郡に来襲した海賊と激戦、双方、死者多数
- 941年2月18日-09:00|日本|滋賀県大津市|天慶4年1月20日|延暦寺惣持院焼亡
- 941年3月1日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天慶4年2月|藤原純友軍の幹部藤原恒利が朝廷軍に寝返り、朝廷軍は純友の本拠日振島を攻め、これを破った
- 941年4月-02:00|シリア・アラブ| |||ハジヤムがクルド人に殺されフン・ラーイクが大アミールに再任される
- 941年6月-09:00|日本|福岡県太宰府市|天慶4年5月上旬|藤原純友軍は大宰府を攻撃して占領/純友の弟の藤原純乗は、柳川に侵攻するが、大宰権帥の橘公頼の軍に蒲池で敗れる
- 941年6月-04:00|ロシア/トルコ| |||ビザンティン軍がキエフ公国軍を「ギリシアの炎」で撃退
- 941年6月17日-09:00|日本|福岡県福岡市|天慶4年5月20日|小野好古の率いる官軍が優勢となり博多の戦いで純友軍は潰滅
- 941年7月17日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天慶4年6月20日|藤原純友が日振島で橘遠保に討ちとられる
- 941年7月27日-08:00|中国| |||ヒン・永隆3年7月|ヒン・王延羲は大ヒン皇帝(景宗)、威武節度使を自称
- 941年9月17日-08:00|中国| |||呉越・天福6年8月24日|<死去>呉越第2代皇帝「世宗文穆王(銭元か)」
- 941年9月26日-08:00|中国| |||呉越・天福6年9月3日|<即位>呉越第3代皇帝「成宗忠献王(銭弘佐)」(~947年6月22日)、後晋により呉越国王に封じられる
- 941年9月29日-09:00|日本|大分県|天慶4年9月6日|源経基、豊後国海部郡佐伯院において賊徒と合戦/賊首の桑原生行を捕獲
- 941年11月17日-09:00|日本|兵庫県朝来市|天慶4年10月26日|賀茂貞行、策略をめぐらして藤原文元・藤原文用兄弟等を但馬国朝来郡朝来郷で射殺
- 941年11月29日-09:00|日本| |||天慶4年11月8日|<就任>関白:藤原忠平(~天曆3年8月14日)
- 942年-08:00|インドネシア| |||<即位>スダタ王国マハラジャ「Prabu Resi Atmayadarma Hariwangsa」(~954年)
- 942年-01:00|フランス| |||<死去>アンジュ伯「フルク1世赤顔伯」72歳
- 942年-01:00|フランス| |||<就任>アンジュ伯「フルク2世善良伯」フルク1世赤顔伯の息子(~09581111死去)
- 942年-01:00|イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィア共和国第21代ドージェ(元首)「ピエトロ・カテティア」(~959年)
- 942年-01:00|フランス| |||<即位>ロランギア大公「オットー・フォン・エルダ」(~944年)
- 942年 00:00|アイスランド| |||<死去>グウィネト王「イトフル・ウオイス・アブ・アサウト」
- 942年 00:00|アイスランド| |||<死去>ホイス王「ルヴェリン・アブ・マーフィン」
- 942年 00:00|アイスランド| |||<即位>グレイウイング王「Morgan Hen ab Owain」(~974年)
- 942年 00:00|アイスランド| |||グウィネトをサクスウェルスが統治(~950年)
- 942年 00:00|アイスランド| |||ホイスをデハバースが統治(~999年)
- 942年4月-02:00|シリア・アラブ| |||ハムダン朝のハサンがラーイクを殺し、大アミールに任命される
- 942年5月18日-09:00|日本| |||天慶5年4月1日|「日蝕」
- 942年6月10日-08:00|中国| |||南漢・光天1年4月24日|<死去>大越皇帝「高祖・劉ケン」享年54
- 942年6月10日-08:00|中国| |||南漢・光天1年4月24日|<即位>漢(南漢)皇帝「殤帝・劉ヒン」(~光天2年3月8日(943年4月15日)死去)「光天」と改元(-943年)
- 942年7月28日-08:00|中国| |||後晋・天福7年6月13日|<死去>後晋第1代皇帝「高祖(石敬瑭)」
- 942年7月28日-08:00|中国| |||後晋・天福7年6月13日|<即位>後晋第2代皇帝「少帝(石重貴)」(~947年1月11日)
- 942年8月22日-08:00|中国| |||後晋・天福7年7月8日|晋、契丹に使を遣わす
- 942年10月19日-01:00|フランス| |||<死去>アルデンヌ伯「ゴゼロ」
- 942年10月19日-01:00|フランス| |||<就任>アルデンヌ伯「ギゼルベルト」(~09630417没)
- 942年10月30日-01:00|バチカン| |||<死去>第127代ローマ教皇「ステファヌス9世」
- 942年11月-01:00|バチカン| |||<就任>第128代ローマ教皇「マリヌス2世」(~09460501死去)
- 942年11月-01:00|フランス/ドイツ| |||グイェの和約、「西フランク王国」国王ルイ4世(渡海王)、ドイツ王(のち初代「神聖ローマ皇帝」)オットー1世(オットー大帝)にフランス北東部ロレーヌを放棄
- 942年11月11日-08:00|中国/朝鮮| |||契丹・會同5年10月|契丹、高麗に使を遣わす/高麗、その使を島に流す
- 942年12月-01:00|フランス| |||<即位>ノルマンディー公(ノルマンディー家)リチャード1世「無怖公」(~996年)
- 942年12月17日-01:00|フランス| |||<死去>ノルマンディー公「ギヨーム1世長剣公」領土を巡って争った「フランドル伯」アルヌフ1世の部下に暗殺される
- 942年12月17日-01:00|フランス| |||<即位>ノルマンディー公「リチャード1世無怖公」(~9961120死去)
- 943年-05:00|ウズベキスタン/キルギス/タジキスタン| |||<死去>サーマン朝アミール「ナール2世」
- 943年-05:00|ウズベキスタン/キルギス/タジキスタン| |||<即位>サーマン朝アミール「ヌーフ1世」(~954.8死去)
- 943年-04:00|アルメニア| |||<即位>ウァスプラカン王「テレンク・アショト(アショト3世)」(~953年)
- 943年-03:00|イラク| |||カルカス将軍が旧メソポタミア領をイスラム軍より奪取
- 943年-02:00|ギリシャ| |||<就任>イクリティア(クレタ島)首長「アリー・ブン・アフマト」(~949年)
- 943年-01:00|フランス| |||<死去>ヴェルマントワ伯・モー伯「Herbert2世」
- 943年-01:00|フランス| |||<死去>メコン伯「Aubry1世」

0950迄 (1307件)

- 943年-01:00|フランス| |||<就任>ウァロワ伯・ウァクサン伯「Walter1世」  
943年-01:00|スペイン| |||<就任>カスティール伯「Ansur Fernandez」(~945年)  
943年-01:00|フランス| |||<就任>フランク王国ウエルマント7伯「Albert1世the Pious」(~988年)  
943年-01:00|フランス| |||<就任>モー伯「ロベルト」(⇒956年、兼トワ伯「ロベルト2世」~967年死去)  
943年-01:00|イタリヤ| |||<即位>スレート公「ヒューベルト」(~946年)  
943年 00:00|イタリヤ| |||<即位>スコットランド王「マルカム1世危険な赤王」トナルド2世の息子(~954年死去)  
943年2月8日-08:00|中国| ||殷・天徳1年|<即位>殷皇帝「王延政」建州において自称、天徳と改元(⇒944年大ビソ皇帝)  
943年3月30日-08:00|中国| ||南唐・昇元7年2月22日|<死去>南唐1代皇帝「烈祖(李璟)」  
943年3月30日-08:00|中国| ||南唐・昇元7年2月22日|<即位>南唐2代皇帝「元宗(李璟)」(~961年8月12日)  
943年4月8日-08:00|中国| ||南唐・保大1年3月|南唐・李璟が「保大」と改元(-957年)  
943年4月10日-01:00|イタリヤ| |||<死去>ベネチア公「ランドゥルフ1世」兼カリア公「ランドゥルフ3世」  
943年4月10日-01:00|イタリヤ| |||<即位>ベネチア公「パンドルフ1世」(⇒961年兼カリア公⇒967年兼スレート公⇒978年兼ヴェネチア公~981.3死去)  
943年4月10日-01:00|イタリヤ| |||<退位>カリア公・ベネチア公「アテナル3世カリノラ」  
943年4月14日-09:00|日本| ||天慶6年3月7日|<死去>藤原敦忠(生年906年/公家、歌人、三十六歌仙の一人)  
943年4月15日-08:00|中国| ||南漢・應乾1年3月8日|<死去>漢(南漢)皇帝「殤帝・劉鋹」弟の劉宏熙に殺された、享年24  
943年4月16日-08:00|中国| ||南漢・應乾1年3月9日|<即位>漢(南漢)皇帝「中宗・劉晟」(~乾和16年8月3日(958年9月18日)死去)応乾と改元  
943年5月-02:00|シリア・アラブ| |||マムルーク・トゥースーンがナースィル・アッダウラをバグダードから追い大アミールに就く  
943年7月4日-09:00|朝鮮| ||高麗・天福8年5月29日|<死去>高麗王「太祖王建」67歳  
943年7月5日-09:00|朝鮮| ||高麗・天福8年6月1日|<即位>高麗王「惠宗」(~09451023死去)  
943年8月20日 11:00|トルクメニスタン/イラン| |||トルクメニスタン、イラン国境で地震(M7.6)、死者5千人  
943年8月29日-09:00|日本| ||天慶6年7月26日|<死去>元良親王(生年890年/皇族、歌人)  
943年11月30日-08:00|中国/ベトナム| ||南漢・乾和1年11月|南漢で第3代中宗劉晟が乾和(-958年)と改元  
944年-08:00|中国| ||大理・神武3年|<死去>前大理初代皇帝「太祖神聖文武帝(段思平)」  
944年-07:00|カンボジア| |||<死去>クメール王朝国王「ハルシャーク・アルマン2世」  
944年-07:00|カンボジア| |||<即位>クメール王朝国王「ラージェント・ラガ・アルマン2世」(~968年)  
944年-05:30|インド| |||<即位>プラーティハール朝国王「マヘントラハール2世」(~948年)  
944年-04:00|ロシア/トルコ| |||キエフ公国イゴリは新たに東ローマ帝国と通商条約を結ぶ  
944年-03:00|パレスチナ| |||<死去>カルマティヤ君主「Abu-Tahir Al-Jannabi」  
944年-03:00|パレスチナ| |||<即位>カルマティヤ君主「Ahmad Abu Tahir」(~970年)  
944年-03:00|イェメン| |||<即位>ユフィリス王「Muhammad bin Ibrahim」(~956年)  
944年-01:00|ドイツ| |||<就任>西フランク大公「コンラート赤毛公」(~09550810死去)  
944年-01:00|フランス| |||<就任>ウエルタール伯「Raoul」(~963年死去)  
944年-01:00|アルジェリア| |||<設立>アルジェ(アルジャザール)  
944年-01:00|フランス| |||<即位>ロランギア大公「コンラート(赤公)」ザリア家、皇帝オットー1世の女婿(~953年)  
944年 00:00|アイルランド| |||<死去>アイルランド 上王「ドンチャド・ドンマック・フライン」  
944年 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド 上王「コガラッハ・クノグバ・マック・マイール ミトハイ」(~956年死去)  
944年 00:00|イタリヤ| |||イタリヤがノザンリアを統治(~947年)  
944年1月1日-08:00|中国| ||契丹・會同6年12月3日|契丹、晋を攻める  
944年1月18日-07:00|ベトナム| ||南漢・乾和1年12月20日|<死去>呉朝国王「呉権(前呉王)」病死  
944年1月18日-07:00|ベトナム| ||南漢・乾和1年12月20日|<即位>呉朝国王「楊三哥(平王)」呉権の妃である楊氏の兄弟、楊廷芸の子(~950年廃位)/土豪が群雄割拠し十二使君(12人の土豪)時代となる  
944年1月28日-08:00|中国| ||大理・神武3年|<即位>前大理第2代皇帝「文経帝(段思英)」(~945年)  
944年2月5日-09:00|日本| |奈良県桜井市|天慶7年1月9日|長谷寺全焼  
944年3月27日-09:00|日本| |栃木県佐野市|天慶7年3月|藤原秀郷、佐野厄除大師創建<天台宗>  
944年4月8日-08:00|中国| ||ビソ・永隆6年3月13日|<死去>大ビソ皇帝「景宗(睿文広武明聖元徳大孝皇帝・王延羲)」朱文進及び連重遇により殺害された  
944年4月8日-08:00|中国| ||ビソ・永隆6年3月13日|<即位>大ビソ皇帝「朱文進」(~945年2月14日死去)  
944年5月6日-08:00|中国| ||契丹・會同7年4月11日|契丹、軍を還す  
944年7月23日-08:00|中国| ||後晋・開運1年; 楚・開運1年; 呉越・開運1年; 荆南・開運1年7月|後晋において石重貴が開運(-944年12月)と改元/荆南・楚・呉越も改元  
944年8月26日-03:00|イタリヤ| |||<即位>バグダード・アッバース朝第22代カリフ「ムスタクフィー」(~09460128退位させられ両目を潰され余生を獄中で過ごした~949.9死去)  
944年8月26日-03:00|イタリヤ| |||<廃位>バグダード・アッバース朝第21代カリフ「ムタキ」捕えられ目を潰されバグダードに連行される(~968.7死去)  
944年9月21日 11:00|日本| ||天慶7年9月2日|<天慶7年大暴風雨>夜、大内裏にある各省官舎も、市中の民家も大暴風雨によって、数え切れないほど倒潰/信濃国司紀文幹が倒潰した官舎の下敷きになり死亡  
944年10月-01:00|チュニジア| |||ハワーリジュ派がファティマ朝に反乱し、カイロを占領  
944年12月16日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝「コンスタンティノス7世」(~09591109死去)

0950迄 (1307件)

- 944年12月16日-02:00|トルコ| |||<廃位>東ローマ帝国皇帝「ロマノス1世」が「ノース」で追放される
- 944年12月22日-08:00|中国| ||契丹・會同7年;後晉・開運1年12月5日|契丹、晋を攻める
- 945年-04:00|ロシア| |||<即位>ノヴゴロド公「ボリス」(~962年)
- 945年-03:00|イラク/イラン| |||<即位>ブワイフ朝(イラク地方・ケルマーン地方)アミール「ムイッサ・ウッダウ」ブワイフの三男(~9670408死去)
- 945年-03:00|ペルシア| |||<即位>ホロク公「ロウダ」(~978年死去)
- 945年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<死去>キエフ大公「イゴリ1世」兼ノヴゴロド公「イゴリ・リュリコウ」ドレヴリャー族のもとへ貢税を取り立てにいき、その反撃にあい殺害されてしまう
- 945年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>キエフ大公国摂政「ボリス」(~09690711死去)
- 945年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<即位>キエフ大公「スヴャトスラフ1世」(~9720326死去)
- 945年-01:00|ウクライナ/ロシア| |||<死去>ウクライナ王「クリミル1世」
- 945年-01:00|ドイツ| |||<就任>ロリンギア宮中伯「ヘルマン1世瘦身伯」(~996年死去)
- 945年-01:00|ウクライナ/ロシア| |||<即位>ウクライナ王「ミロスラフ」(~949年、殺害される)
- 945年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソンガイ王国国王「ヤマ・カラオニア」(~957年)
- 945年1月1日-08:00|中国| ||ヒン・永隆6年12月15日|ヒン・朱文進が後晉より正式にヒン国王に冊封された
- 945年2月14日-08:00|中国| ||ヒン・永隆6年閏12月29日|<死去>大ヒン皇帝「朱文進」連重遇と共に林仁翰により殺害された
- 945年2月14日-08:00|中国| ||ヒン・永隆6年閏12月29日|<即位>大ヒン皇帝「(殷皇帝)王延政」、国内の王姓皇族50余名を殺害(~945年10月2日南唐に投降滅亡)
- 945年2月15日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天慶8年|この年僧延昌が清原深養父が山荘を補陀樂寺として建立
- 945年2月15日-08:00|中国| ||大理・文経1年|<死去>前大理第2代皇帝「文経帝(段思英)」
- 945年2月15日-08:00|中国| ||大理・文経1年|<即位>前大理第3代皇帝「文成帝(段思良)」(~951年)
- 945年2月15日-08:00|中国| ||後晉・開運2年|この年、旧唐書が劉からによって上程された
- 945年2月15日-08:00|中国| ||大理・文経1年|大理国・段思英が文経と改元
- 945年3月4日-09:00|日本| ||天慶8年1月18日|<死去>藤原寛子(生年906年、重明親王の妃)
- 945年4月-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>ハムダン朝(アレクソ)アミール「サイフ・アッダウ」建国(~967年)
- 945年5月11日-08:00|中国| ||契丹・會同8年3月27日|契丹、不利/軍を還す
- 945年6月30日-09:00|日本| ||天慶8年5月18日|<死去>紀貫之(生年866年/公家、歌人、随筆家、三十六歌仙の1人)「古今和歌集」を撰進、「土佐日記」
- 945年9月9日-08:00|中国| ||南唐・保大3年;吳越・開運2年8月以降|南唐・李璟は福州を攻めたが、吳越の銭佐に敗れた
- 945年10月2日-08:00|中国| ||南唐・保大3年;殷・天徳3年8月24日|大ヒン皇帝「(殷皇帝)王延政」南唐・李璟、吳越・銭弘佐に攻められ投降滅亡
- 945年10月9日-09:00|朝鮮| ||高麗・宗宗1年9月|高麗で王位をめぐる王規の乱がおこる
- 945年10月9日-09:00|日本| ||天慶8年9月1日|<死去>藤原仲平(生年875年/公卿、歌人)
- 945年10月23日-09:00|朝鮮| ||高麗・開運2年9月15日|<死去>高麗王「恵宗」
- 945年10月23日-09:00|朝鮮| ||高麗・開運2年9月15日|<即位>高麗王「定宗」(~09490413死去)
- 946年-04:00|ロシア| |||キエフ公国イゴリの寡婦ボリスは、ドレヴリャーの本拠地であるイスコルステの街に攻撃を仕掛け屈服させる
- 946年-03:00|イラク| |||<即位>バグダット・アッバース朝第23代カリフ「ムタイ」(~09740804中風となって舌がもつれて言うことが分からなくなりバグダットに退位を勧告され従った~0974.9死去)
- 946年-03:00|イラク| |||<退位>バグダット・アッバース朝第22代カリフ「ムスタクフィー」両目を潰され余生を獄中で過ごした(~949.9死去)
- 946年-01:00|ベルギー| |||<就任>ナミュール伯「ロベール1世」(~981年没)
- 946年-01:00|イタリア| |||<即位>スペレート公「ボニファス2世」(~953年)
- 946年1月18日-03:00|イラク| |||ブワイフ朝アッマドがバグダットに入り、大アミールに任ぜられる
- 946年2月5日-08:00|中国| ||大理・至治1年|大理国・段思良が至治(-951年)と改元
- 946年5月1日-01:00|バチカン| |||<死去>第128代ローマ教皇「マリヌス2世」
- 946年5月10日-01:00|バチカン| |||<就任>第129代ローマ教皇「アガペトウス2世」(~09551108死去)
- 946年5月17日-01:00|チュニジア/エジプト| |||<死去>ファティマ朝第2代カリフ「アルカイム・ビームラー」
- 946年5月17日-01:00|チュニジア/エジプト| |||<即位>ファティマ朝第3代カリフ「アルマンスール・ビームラー」(~9530319死去)
- 946年5月23日-09:00|日本| ||天慶9年4月20日|<譲位>「第61代朱雀天皇」
- 946年5月23日-09:00|日本| ||天慶9年4月20日|<踐祚>「62代村上天皇」4月28日即位(~09670525)
- 946年5月26日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリス王「エドマント1世」殺害された(約25歳)
- 946年5月27日 00:00|イギリス| |||<即位>イギリス王「エドレッド」エドワード長兄王とエドギフの男子(~09551123死去)
- 946年6月4日-01:00|イタリア| |||<死去>サルノ公「ガイマル2世」
- 946年6月4日-01:00|イタリア| |||<就任>サルノ公「ギサル1世」(~973年廃位)
- 946年6月22日-08:00|中国| ||契丹・會同9年5月21日|易州(河北省易県)、契丹に來附する(17州になる)
- 946年7月24日-02:00|エジプト| |||<死去>イフシド朝初代ワリー「ムハンマド・イブン・トウグジュ」
- 946年7月24日-02:00|エジプト| |||<即位>イフシド朝第2代ワリー「アブ・ルガジム・ウヌア・イブン・アルイクト」(~961年死去)
- 946年8月30日-08:00|中国| ||契丹・會同9年;後晉・開運3年8月|契丹、晋を攻める

0950迄 (1307件)

- 946年10月13日-09:00|日本| ||天慶9年9月16日|<死去>英子内親王(生年921年/皇族、伊勢斎宮)
- 947年-05:30|イト | ||<即位>東チャルキヤ朝君主「Amma2世」(~970年)
- 947年-03:30|イラン | ||<即位>ジャスタス朝国王「Manadhar」(~972年)
- 947年-01:00|スペイン | ||<就任>ハルルカ朝「ボレイ2世」スニエ1世の子(~993年死去)、ミロ1世「スニエ1世の子」(~966年死去)共同統治
- 947年-01:00|ハンガリー | ||<即位>ハンガリー大公(アルパート朝)「アルパート」[アルパートの三男ユタシュの息子](~955年死去)
- 947年-01:00|ドイツ/オーストリア | ||<即位>ハイルン大公(ザクセン家)「ハインリヒ1世」[ドイツ王「ハインリヒ1世」の息子](~955/1101)「ヘルムルト」が死ぬと神聖ローマ皇帝「オットー1世」は唯一の弟で、アルヌフの義理の息子である「ハインリヒ1世」に大公の地位を授けた
- 947年-01:00|スペイン | ||<退任>ハルルカ朝「スニエ1世」修道院へ引退
- 947年 00:00|モロッコ | ||<即位>ネール王国「Jurthum ibn Ahmad」(~970年)
- 947年 00:00|アイスランド | ||<即位>「Eiríkr blóðox Haraldsson」(1期目~948年)
- 947年1月11日-08:00|中国 | ||契丹・会同9年;後晋・開運3年12月17日|<廃位>後晋第2代皇帝「少帝(石重貴)」契丹軍の3度目の侵攻で開封は陥落、北方に連れ去られ、晋が滅ぶ
- 947年2月24日-09:00|日本 | ||天慶10年2月|<任命>鎮守府將軍「平貞盛」(~不詳)
- 947年2月24日-08:00|中国 | ||後漢・天福12年2月|磁州の賊・梁暉が相州を攻め取って後漢に帰属/武節軍節度使の史弘肇が代州刺史・王暉を殺して州ごと投降/晋州の將領・葉可儔が諫義大夫・趙熙とともに帰順/陝州留後・趙暉がくだり、州留後・王守恩が帰服
- 947年2月24日-08:00|中国 | ||遼・大同1年2月1日|遼で大同と改元、国号を大遼とし、鎮州を中京とする
- 947年3月9日-09:00|日本 | ||鳥取県|天慶10年2月14日|<藤原是助の乱>この日伯耆国の豪族・藤原是助が400余人の兵卒をもって物部高茂・物部忠明父子の舎屋などを焼く/以後2か月間にわたって伯耆国で争乱
- 947年3月10日-08:00|中国 | ||後漢・天福12年;楚・天福12年;呉越・天福12年;荆南・天福12年2月15日|<即位>後漢初代皇帝「高祖(劉知遠)」後晋王朝に代わって後漢を建国(~948年3月10日)/後晋の年号「天福」を復活させ「天福12年」とした(-12月)/楚・呉越・荆南も改元
- 947年3月25日-08:00|中国 | ||後漢・天福12年3月|延州で叛乱が起こり、節度使周密を駆逐するが丹州指揮使・高彦珣が州を挙げて帰順、さらに契丹を打ち破って北方に還らせた
- 947年4月10日-01:00|イタリヤ | ||<死去>イタリヤ国王「ブルゴネニウ王ヒュゴ」
- 947年4月10日-01:00|イタリヤ | ||<即位>イタリヤ王「ロベロ2世」ウゴ・デ・アルの子(~950/1122死去)
- 947年4月24日-08:00|中国 | ||遼・大同1年4月|契丹が相州を陥として梁暉を殺した
- 947年4月24日-08:00|中国 | ||呉越・天福12年4月|侍衛親軍歩軍指揮使・史弘肇に命じて州を取らせた/奉国指揮使・武行徳が河陽をもって帰服/史弘肇、なおも兵を進めて澤州取りに成功
- 947年5月6日 11:00|日本 | ||京都府京都市|天慶10年4月13日|法性寺焼亡
- 947年5月15日-09:00|日本 | ||天曆1年4月22日|天慶から天曆に改元
- 947年5月15日-08:00|中国 | ||遼・大同1年4月22日|<死去>契丹(契丹)可汗「太宗耶律徳光(耶律堯骨)」凱旋の帰路、爨城で/年46
- 947年5月16日-08:00|中国 | ||遼・大同1年4月23日|<即位>契丹(契丹)可汗「世宗耶律阮」(~天禄5年9月4日(951年10月7日))
- 947年5月22日-08:00|中国 | ||遼・大同1年4月29日|太皇太后述律月理朵、兀欲の即位を聞き、李胡(阿保機の第三子・章肅皇帝/洪古)を遣わし、兵を率いてこれを拒む
- 947年5月30日-08:00|中国 | ||楚・天福12年5月8日|<死去>楚第3代皇帝「文昭王(馬希範)」
- 947年5月30日-08:00|中国 | ||楚・天福12年5月8日|<即位>楚第4代皇帝「廢王(馬希広)」(~950年)まもなく後漢より天策上將軍、楚王に封じられた
- 947年6月21日-09:00|日本 | ||京都府京都市|天曆1年6月|瘡癘流行、死者多数
- 947年6月21日-08:00|中国 | ||遼・大同1年6月1日|兀欲、李胡(阿保機の第三子、章肅皇帝)の軍と戦い、やぶる
- 947年6月29日-09:00|日本 | ||京都府京都市上京区|天曆1年6月9日|天神より託宣を受けた多治比文子が北野天満宮創建(菅原道真を祀る)
- 947年7月-02:00|シリア・アラブ | ||イフソト朝軍が「アレッポ」に入城
- 947年7月3日-08:00|中国 | ||呉越・天福12年6月13日|<即位>呉越第4代皇帝「忠遜王(錢弘㮮)」(~948年2月12日)
- 947年7月5日-08:00|中国 | ||後漢・天福12年6月15日|劉知遠、国号を大漢(後漢)とする
- 947年7月12日-08:00|中国 | ||呉越・天福12年6月22日|<死去>呉越第3代皇帝「成宗忠献王(錢弘佐)」
- 947年7月16日-09:00|日本 | ||天曆1年6月26日|<死去>藤原忠文(生年873年/公家、武將、征東大將軍)
- 947年7月19日-09:00|日本 | ||天曆1年6月29日|左右檢非違使を併合
- 947年7月23日-09:00|日本 | ||京都府京都市|天曆1年7月3日|暴風雨で京中の舎屋が倒壊
- 947年8月-01:00|チュニジア | ||ハワリジュー派のファティマ朝に対する反乱が鎮圧された
- 947年8月19日-08:00|中国 | ||後漢・天福12年閏7月|天雄軍節度使・杜重威が叛くと漢主は天平軍節度使・高行周をギョウ都行營都部署に任じてこれを征討させた
- 947年9月17日-08:00|中国 | ||後漢・天福12年8月1日|護聖指揮使・白再榮が契丹を駆逐し、鎮州を回復
- 947年9月18日-08:00|中国 | ||遼・大同1年8月2日|遼、北院樞密使を置く(北南二面官制の成立?)
- 947年10月-02:00|シリア・アラブ | ||サイフ・アッタウラが「アレッポ」を奪回
- 947年11月1日-08:00|中国 | ||遼・天禄1年9月16日|遼、安端(阿保機の弟)を東丹国の主とし、明王に封じ、察割(安端の子)を泰寧王とする
- 947年11月1日-08:00|中国 | ||遼・天禄1年9月16日|遼、大同を改めて天禄(-951年)とする

0950迄 (1307件)

- 947年11月23日-01:00|ドイツ| |||<死去>ハ イェル大公「ヘルムト」
- 947年11月23日-01:00|ドイツ| |||<即位>ハ イェル大公「ハインリヒ1世」東フランク王ハインリヒ1世の息子。皇帝オットー1世唯一の弟(9551101死去)
- 947年12月15日-08:00|中国| ||後漢・天福12年11月|杜重威が投降
- 948年-05:30|インド| |||<即位>プ ラティーハ朝国王「デーウアハール」(~954年)
- 948年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<死去>シルヴァン朝国王「Abu Tahir Yazid」
- 948年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<即位>シルヴァン朝国王「Muhammad3世」前王の息子(~9560604死去)
- 948年-01:00|スペイン| |||<就任>アル伯「Boso2世」(~965年)
- 948年-01:00|アントラ| |||<就任>ウルジェイ伯「Miro de Barcelona」(~966年死去)
- 948年-01:00|イタリヤ| |||<即位>カルビッツ君主「al-Hasan al-Kalbi」(~953年)
- 948年-01:00|チュニジア/イタリヤ| |||ファティマ朝カリファがアルカリビ-をシリア総督に任命
- 948年 00:00|モロッコ| |||<死去>モロッコ国王「ファティマ朝アル=カーシム・ガヌーン・イブン・ムハンマド・イブン・アル=カーシム」
- 948年 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ国王「アブ=アル=アイシュ=アフマド・イブン=アル=カーシム=ガヌーン(アフマド1世)」(~954年死去)
- 948年 00:00|イギリス| |||イギリスがノーザンブリタを統治(~949年)
- 948年2月12日-08:00|中国| ||吳越・天福12年12月30日|<即位>吳越第5代皇帝「忠懿王(錢弘俶)」(~978年6月11日)
- 948年2月12日-08:00|中国| ||吳越・天福12年12月30日|<廃位>吳越第4代皇帝「忠遜王(錢弘洵)」夜宴に乘じ内牙統軍使胡進思らが政変を起こし軟禁される
- 948年2月13日-08:00|中国| ||荆南・乾祐1年|<即位>荆南第3代皇帝「貞懿王(高保融)」(~960年9月20日)
- 948年2月13日-08:00|中国| ||後漢・乾祐1年|<即位>天山ウイグル王国可汗「トルテンチュル=ビルケ=テングリ=イグ」(~985年)
- 948年2月13日-08:00|中国| ||後漢・乾祐1年;楚・乾祐1年;吳越・乾祐1年;荆南・乾祐1年1月|後漢・初代皇帝劉知遠(高祖)が乾祐(-950年)と改元/吳越・楚・荆南も使用/951年以降、北漢・初代君主劉旻(世祖)と第2代君主劉鈞(睿宗)の治世で956年まで使用
- 948年3月10日-08:00|中国| ||後漢・乾祐1年1月27日|<死去>後漢初代皇帝「高祖(劉知遠)」万歳殿で/享年53歳
- 948年3月14日-08:00|中国| ||後漢・乾祐1年2月1日|<即位>後漢第2代皇帝「隱帝(劉承祐)」(~951年1月2日)
- 948年3月15日-09:00|日本|京都府京都市上京区|天曆2年2月2日|清涼殿が造営される
- 948年6月15日-02:00|トルコ| |||<死去>前東ローマ帝国皇帝(マクドニア朝)「ロマノス1世レカノス」
- 948年9月3日-09:00|日本|京都府京都市|天曆2年7月27日|暴風雨で京中の舎屋が倒壊、死者多数
- 948年10月5日-09:00|朝鮮| ||高麗・乾祐1年9月|高麗、後漢年号(乾祐1年)を施行
- 948年12月1日-08:00|中国| ||荆南・乾祐1年10月28日|<死去>荆南第2代皇帝「文献王(高從誨)」
- 948年12月1日-08:00|中国| ||荆南・乾祐1年10月28日|<即位>荆南第3代皇帝「貞懿王(高保融)」(~建隆元年8月27日(960年9月20日)死去)、後漢より荆南節度使同平章事兼侍中に封じられた
- 948年12月2日-09:00|日本| ||天曆2年10月29日|<死去>源公忠(生年889年/官人、歌人、三十六歌仙の一人)
- 949年-07:00|タイ| |||<即位>アョータイ-王国第11代国王「ルワン王(プ ラチャオ=ルワン)」(~1027年)
- 949年-05:30|インド| |||<即位>ハラマール朝国王「Siyaka2世」(~972年)
- 949年-05:30|インド| |||タッコラムの戦いでクリシュナ3世がアョーラー軍を破る
- 949年-03:30|イラン| |||<即位>プ ワイフ朝(ファールス地方ケルマーン地方)第2代国王アズド=ウダウラ[プ ワイフの次男ルカン=ウダウラの子](~983年)
- 949年-02:00|ギリシャ| |||<就任>イクリティア(クレタ島)首長「アブド=アル=アズ=イス=ブ=ン=シヤアブ」(~961年)
- 949年-01:00|クワチヤ| |||<死去>クワチヤ王「ミロスラフ」殺害される
- 949年-01:00|クワチヤ| |||<就任>クワチヤ=ハン「フ リビナ」(~969年)
- 949年-01:00|クワチヤ| |||<即位>クワチヤ王「ミヒヤエル=クレシムル2世」(~969年、死去)
- 949年 00:00|イギリス| |||<復位>ノーザンブリタ王「Olaf r kvaran Sigtryggsson」(2期目~952年)
- 949年2月1日-09:00|日本|大阪府大阪市北区|天曆3年|村上天皇の勅願により大阪天満宮(大阪府)創建
- 949年2月1日-08:00|中国| ||南唐・保大7年|泉州に清源軍節度使を置き、留從效をして任じた
- 949年2月1日-08:00|中国| ||楚・乾祐2年|武貞(武平)節度使であった馬希萼が叛乱を起こし楚の都城である潭州(現在の湖南省長沙市)を攻めるが失敗
- 949年2月2日-09:00|日本|滋賀県大津市|天曆3年1月2日|延暦寺根本中堂焼ける
- 949年4月13日-09:00|朝鮮| ||高麗・乾祐2年3月13日|<死去>高麗王「定宗」
- 949年4月13日-09:00|朝鮮| ||高麗・乾祐2年3月13日|<即位>高麗王「光宗」(~09750704死去)
- 949年9月25日-09:00|日本|京都府京都市|天曆3年9月|元慶寺焼亡
- 949年10月23日-09:00|日本| ||天曆3年9月29日|<死去>陽成法皇/82歳(誕生:貞観10(868)1216)57代天皇
- 949年10月24日-08:00|中国| ||遼・天祿3年;後漢・乾祐2年10月|遼、漢を攻める
- 949年12月-03:30|イラン| |||<死去>プ ワイフ朝(ファールス地方)アミール「イマド=ウダウラ」
- 949年12月-03:30|イラン| |||<即位>プ ワイフ朝(ファールス地方)アミール「アズド=ウダウラ」プ ワイフの次男ルカン=ウダウラの子(~9830326死去)
- 949年12月2日-09:00|日本|奈良県奈良市|天曆3年11月10日|大安寺西塔雷火のため焼亡
- 949年12月6日-09:00|日本|京都府京都市|天曆3年11月14日|冷泉院焼亡
- 949年12月10日-01:00|ドイツ/スイス| |||<死去>シュヴァーベン大公「ヘルマン1世」
- 950年-07:00|ベトナム| |||<即位>吳朝国王「吳昌岌(天策王)」吳権の長男(~954年死去),「吳昌文(南晋王)」吳権の次男(~965年死去)

0950迄 (1307件)

- 950年-07:00|ベトナム| |||<廃位>呉朝国王「楊三哥(平王)」呉昌文により
- 950年-05:30|インド| |||<死去>チョーラ朝国王「ハランタカ1世」
- 950年-05:30|インド| |||<即位>チョーラ朝国王「タンガデーイン」(~999年)
- 950年-05:30|インド| |||<即位>チョーラ朝国王「Gandaraditya Chola」(~956年死去)
- 950年-05:30|インド| |||ムカリス・スコル・グスマ国はマルム(最終的にラトウ・グアスという名前になる)、ブルガン、ゲゲに分割
- 950年-01:00|ハンガリー| |||<死去>ハンガリー大公「ソルトン」
- 950年-01:00|フランス| |||<就任>トゥールーズ伯「レイモンド4世」(~961年)
- 950年-01:00|フランス| |||<就任>メス伯「Richard」(~986年)
- 950年-01:00|スペイン| |||<就任>リハゴルサ伯「Raymond2世」Bernard1世の息子(~970年)
- 950年-01:00|フランス| |||<即位>アキテーヌ公・オーベルニュ伯「ギヨム3世」(~9630403死去)
- 950年-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「アダルベルト2世」ベレンガリオ2世の子(~962年ベレンガリオ2世と共同統治)
- 950年-01:00|ドイツ/スイス| |||<即位>シュヴァーベン大公「リットルフ」ヘルマン1世の娘イダと結婚(~954年退位~9570906死去)
- 950年-01:00|ハンガリー| |||<即位>ハンガリー大公「ファイズ」アールハートの三男ユタシュの息子(~955年10月)
- 950年 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトゥガル伯「エルメジルト・ゴンサレス」
- 950年 00:00|ポルトガル| |||<就任>ブラカ伯「Goncalo Mendes」(~997年死去)
- 950年 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトゥガル伯「ゴンサロ・メネス」(~997年)
- 950年 00:00|イギリス| |||<即位>グウェント王「イアコフ・アブ・イトワル」(~979年死去)、「イーフ・アブ・イトワル」(~969年)
- 950年 00:00|イギリス| |||<即位>グウェント王「Nowy ap Gwriad ap Brochfael ap Rhodri ap Arthfael Hen」(~970年)
- 950年 00:00|イギリス| |||<即位>デハバース王「オウイン・アブ・ハウエル」(~987年死去)、対立王「ドリアフ・ハウエル」(~953年死去)、対立王「エドウィン・アブ・ハウエル」(~954年死去)
- 950年 00:00|ヨーロッパ| |||地中海にロンク・ガレ船が出現
- 950年 04:00|刊| |||このころからイースター島でモアイの建造がはじまる
- 950年 07:00|メキシコ| |||現メキシコシティの北西ウーラにトルテカ族文明発祥/トルテカはユカタン半島を制圧し、チエンイツァー、ウシュマルなどの神殿都市を建設
- 950年1月21日-09:00|朝鮮| ||高麗・光徳1年|高麗で光徳(-951年)と改元
- 950年2月20日-08:00|中国| ||遼・天祿4年2月|政事省(中書省)を建てる
- 950年5月24日-09:00|日本| ||天曆4年5月5日|<死去>熙子女王(生年生年未詳/皇族)
- 950年6月14日 00:00|アイスランド| |||<就任>アイスランド連邦共和国政府(アルシグ)法話者「トーリン・ラガフ・ロテイル・オレイフソン」(~969年)
- 950年10月14日-08:00|中国| ||楚・乾祐3年9月|馬希萼は南唐の助勢をとりつけ、長沙を攻めた
- 950年11月13日-08:00|中国| ||遼・天祿4年;後漢・乾祐3年10月|遼、漢を攻める
- 950年11月22日-01:00|イタリア| |||<死去>イタリア王「ロリア2世アルル」
- 950年11月22日-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「イグレーア辺境伯ベレンガリオ2世」ベレンガリオ1世の外孫。祖父の王位を請求して即位宣言(1回目、09501215まで代行~951年10月)
- 950年12月12日-08:00|中国| ||楚・保大8年11月|<死去>楚第4代皇帝「廃王(馬希広)」兄である馬希萼が南唐と結んで殺した
- 950年12月12日-08:00|中国| ||楚・保大8年11月|<即位>楚第5代皇帝「恭孝王(馬希萼)」(~951年)
- 950年12月15日-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「アダルベルト2世」ベレンガリオ2世の子/共同統治(1回目~951年10月)